

農工通信

The Graduates' Association of
Tokyo University of Agriculture and Technology

NO. 89 / 2015.8



東京農工大学同窓会
<http://www.tuat-dousoukai.org/>

TAT

会長挨拶	1
理事長挨拶	2
同窓会第52回理事会・通常総会	3
同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表	7
叙勲受章にあたり	8
清水 実嗣、栗原 績、津曲 公夫、 木崎 隆弘、石崎 新一郎	
退職にあたり	12
鈴木 創三、朝倉 哲郎、亀山 秀雄、関根 優年	
平成26年度同窓会学生援助事業報告	14
平成26年度卒業生・修了生	15
部会・支部・クラス会だより	22
掲示板	34
事務局だより・編集後記	36
情報提供のお知らせ	

表紙の絵

サトイモ *Colocasia esculenta*

堀越 英雄 (農S33)

このサトイモは、埼玉県入間郡三芳町の農家Hさんの畑で採れたもので、イモの形状は見事です。花は私の菜園で咲いたものです。

日本では、サトイモは古代（縄文時代）から食べられていて、慶事や行事とも合い食され文化的にも人々の生活に深く結びついています。

この絵は、今年2月ロンドンでの王立園芸協会の展覧会（RHS ボタニカル・アート ショウ）に出展、ゴールド・メダルを受賞した「日本の伝統的な根菜類」6枚組のうちの1枚です。

9月に受賞作品を中心とした個展を神田で開くことにしています。

■ 会長挨拶 ■

同窓会長 草野 洋一（養蚕S47）



昨年9月19日に、東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年の合同式典が府中の森芸術劇場で開催されました。平成18年から記念事業の検討が始まり、合同式典までの間、平成20年9月のリーマンショック、平成23年3月の東日本大震災の発生等、日本中がこれまで経験しなかったような厳しい場面に遭遇し、そのような中での募金活動であり、また、140周年記念会館（OBルームを併設）の建設や同窓会50年史の発刊でした。このような予期せぬ困難に遭遇しつつ、9月19日の晴れがましい式典までたどり着いたのでありますが、この成功の舞台裏には、同窓会の皆様方からの多大な御支援の輪が何重にも積み重なっていたのであり、改めて同窓会の皆様に、心から感謝申し上げる次第です。

ところで、私はいわゆる団塊の世代であり、堺屋太一の小説にもあるように、ベビーブーム、入試地獄、全共闘、オーディオ等の趣味製品の大量消費と関連産業の繁栄（テープデッキのアカイやアンプのサンスイ、プレーヤーのニート、スピーカーのコーラル等はどこに行ったのでしょうか。私が就職した昭和40年代後半に揃えたオーディオなのですが。）、そして年金世代になって、シルバー産業なるものの需要の中心になる一方、少ない若者達に今後大きな負担をかけるであろう（在学生を含む同窓の若手の皆さん、よろしくお祈りしますよ。）等々、良くも悪くも、いつの時代も、社会の話題の中心付近に居たような気がします。

私も少年の頃から映画や音楽が好きで、それは今でも変わらず、むしろ近い将来、時間の多くを自分のために使えることから、より過激になっているようで、最近録画するDVDやBRは、映画を中心にドキュメント、歴史番組等、膨大な量になっており、家族からは、いつ見るのかと冷ややかな目で見られています。あまりにも安いので、ついつい買ってしまった中古のレコードやCDも、毎日1枚ずつ聴いても数年かかりそうです。リタイヤしたら再度やるつもりで貯め込んだ楽器類（1尺3寸から2尺4寸まで1寸刻みの尺八、篠笛、中国の横笛、ひょうたん笛、土笛、ホラ貝、クラシックギター等々）は果たして使うことがあるのか。また、大好きな釣りや囲碁は、これからの趣味人生の中心になるはずであり、さらに、少なくとも年2回の海外旅行も女房さんと約束しているし、ベランダ園芸はむしろ野菜等を強化して続けたいし、自治会や老人会等の地域の役割もしっかりやらねばならないし、既に同窓会も含めていくつかの集まりの役員もしていますし、とにかくやりたいことは山ほどあるのですが、人生の終わりはいつになるかは分からないとしても、確実に見えてきていますし、しばらくは楽しい悩みを楽しむつもりです。仕事が楽しい人は、それを中心とした終盤の人生があるでしょうし、趣味と仕事をうまく折り合いをつけて両方を楽しむこともありでしょう。団塊の世代の同窓生の皆さん、人生の終盤はいずれの楽しみ方で行きますか。

■ 理事長挨拶 ■

鈴木 創三 (農S47)



皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

早いもので、今年の総会で理事長に就任してから1年が経ちました。この間の同窓会、理事会の活動と今後の方向性を簡単に述べさせていただきます。

平成26年度の理事会では、1) 同窓会規則・会計体制の整備、2) 農工通信・ホームページの広報活動、3) 部会・支部の総会・懇親会への理事派遣、4) (趣味・同好会的活動の) 集団部会新設、5) 若手会員の参画促進、6) 海外在住会員の活動支援、7) 八王子分収林の契約延長問題などについて、検討いたしました。

1) 会の運営の基礎となる会員の入会金・賛助会費の納付率は90%以上で、これまでの同窓会活動の基本財産と合わせて、適切な運用が出来る状況になっております。また基本財産については剰余金を補充することを基幹として、取り崩すことなく維持・増加する方針を確認しております。

2) 会員諸氏のコミュニケーションの場でもある農工通信の後期号では、会員諸氏の寄稿数が増加し、次年度でのページ数増加を検討するほどの状況になりました。

3) 高知県支部総会では派遣理事の高橋幸資名誉教授、野村義宏教授によるオープン講演会、千葉県支部総会では工学部の遠山茂樹教授による講演会も併催し、高校生を含めた多数の一般の方々にも農工大・同窓会を案内する機会ともなりました。今後、支部や部会の開催時に講演会の併催などがあれば、専門の先生方の派遣や資金援助を行う方向も検討しております。

4) 集団部会の名称は「同好部会」のほうが内容的にも適切と思われませんが、既に設立された「農工大支援ネットワーク」や「農工音楽祭」部会では、定期的な活動が行われ、その後も新たなこの部会の申請が出ております。

5) 神奈川県支部総会、農学・生物生産学部会、農芸化学・応用生命化学部会などの総会・

懇親会では、20歳代、30歳代の会員の参加も目立ちました。各部会・支部では、開催案内や開催後の若手会員諸氏への呼びかけ・交流が大切との印象を受けております。部会によっては再編成等で複数の学科が一つになったり、逆に分かれたりしているものもあります。これらの部会の組織編成については検討を行っております。また、会の懇親会でよく歌われている大学歌や寮歌のCD作成の要望については担当理事が検討を始めております。

6) 海外支部の検討は淵野理事、馬場理事を中心に進めております。インドネシアでは支部の事務所を開く方向で検討が進んでおります。

7) 同窓会分収林の平成32年度の契約更新問題については、担当理事、関係者による現地視察、八王子市役所との交渉を進め、更新時への対応を具体的に検討しております。

8) 同窓会準会員(在学生)に対する援助(学会発表・入賞祝金や卒業・修了証書カバーの贈呈など)、一般財団法人の東京農工大学教育研究振興財団への協力、会員の慶弔への祝電・弔電の送付や感謝状贈呈、被災された会員へのお見舞い、これらについては、引き続き行っております。

9) 昨年9月19日に開かれました農工大学創基140周年・同窓会創立50周年の記念行事では、同窓会は準備作業の協力にあたりました。同窓会の皆様方へのご案内等には不備があったかと思いますが、幸い行事には多数の大学・同窓会関係者が出席され、成功裡に終えることが出来ました。ここにお詫びとともにご報告をさせていただきます。

平成27年度は、これらの検討と実践の成果を踏まえて、会員の皆様のご意見・ご意向を伺いながら、「世界一素晴らしい!!!」我々が「農工大学」の教育・研究・社会貢献活動の支援と、「同窓会活動」を続けていきたいと考えております。

会員の皆様、今後とも東京農工大学同窓会をどうぞよろしく願いいたします。

同窓会第52回理事会・通常総会

■日時：平成27年5月23日（土）13：30～14：30 ■場所：府中キャンパス講堂 ■出席者：209名（内委任状68名）



第52回理事会・通常総会は、5月23日（土）、母校府中キャンパスで開催された。通常総会に先だって理事会が農学部本館2階21号講義室で開催され、鈴木理事長を議長に選出した。議長から、平成27・28年度会長・副会長の推挙、部会理事・部会代議員の選任（交代）、顧問の推挙、特別会員の推薦、通常総会の議案の説明があり、承認された。

通常総会の開催に当たって、滝山副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。草野会長から（全国から多数の参加のお礼、大学創基140周年・同窓会創立50周年記念事業への協力のお礼、来賓の方々の出席のお礼、有意な討論のお願い等）の挨拶があった。続いて松永学長をはじめ、来賓（國見理事、藤原理事、渡邊理事、萩原農学研究院院長、船田連合農学研究所長、畑中名誉会長、藤森名誉会長）の紹介があった後、松永学長から、同窓会からの支援に対する謝意があり、続いて大学の現状（府中・小金井両キャンパスの建物整備、第3期中期目標の準備状況等）の紹介があった。

引き続き、滝山副理事長から、通常総会の議長については、会則第35条に基づき草野会長が務める旨の説明があった後、会則第37条第2項により草野会長、生原監事、金子監事が議事録署名人となり議事に入った。

議事

- 平成26年度事業報告（案）の件**
鈴木理事長から、平成26年度事業報告【別記1】について報告があり、審議の結果、承認された。
- 平成26年度収支決算報告（案）の件**
鈴木理事長から、平成26年度収支決算報告（案）【別記2】について報告があり、審議の結果、承認された。
- 平成26年度監査報告の件**
生原監事から、平成26年度の会計、事業・業務遂行状況及び個人情報保護に関する取り扱いについて、適正に行われている旨の監査報告があり、了承された。
- 同窓会会則の一部改正（案）の件**
鈴木理事長から、同窓会会則の一部改正（案）【別記3】について提案説明があり、審議の結果、承認された。
- 平成27年度事業計画（案）の件**
鈴木理事長から、平成27年度事業計画（案）【別記4】について説明提案がなされ、審議の結果、承認された。
- 平成27年度収支予算（案）の件**
鈴木理事長から、平成27年度収支予算（案）【別記5】について説明提案がなされ、審議の結果、承認された。
- 平成27・28年度 会長・副会長の選任（案）の件**
鈴木理事長から、平成27・28年度 会長・副会長の選任（案）【別記6】について説明提案があり、審議の結果、承認された。
- 部会理事・部会代議員の選任（交代）（案）の件**
鈴木理事長から、部会理事・部会代議員の選任（交代）（案）【別記7】について説明提案があり、審議の結果、承認された。
- 顧問の推挙（案）の件**
鈴木理事長から、顧問の推挙（案）【別記8】について説明提案があり、審議の結果、承認された。
- 特別会員の推薦報告の件**
鈴木理事長から、特別会員の推薦【別記9】について報告があり、了承された。
- 集団部会設置報告の件**
鈴木理事長から、集団部会設置【別記10】について報告があり、了承された。
- 同窓会会員名簿の件**
鈴木理事長から、同窓会会員名簿【別記11】について報告があり、了承された。
- その他の件**
なし

通常総会終了後、50周年記念ホールにおいて懇親会（約140名参加）が開催された。

【別記1】平成26年度事業報告

(1) 第51回理事会・通常総会の開催

平成26年5月24日（土）小金井キャンパスにて第51回理事会・通常総会を開催する。議事内容は、1）平成25年度事業報告（案）、2）平成25年度収支決算報告（案）、3）平成25年度監査報告、4）同窓会会則の一部改正（案）、5）平成26年度事業計画（案）、6）平成26年度収支予算（案）、7）平成26・27年度 理事・代議員の選任（案）、8）平成26・27年度 理事長・副理事長・常務理事の指名報告、9）平成26・27年度 監事の選出（案）、10）名誉会長・顧問の推挙（案）、11）特別会員の推薦報告、12）同窓会会員名簿の発行再開について、13）その他 新旧理事長の退任・新任の挨拶。

(2) 平成26年度副会長懇談会の開催

平成26年11月8日（土）、府中キャンパスにて平成26年度副会長懇談会を開催した。懇談内容は事前に通知した議題の、学科改組等による部会組織のあり方・メールアドレス収集について、他。

(3) 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓会意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実を努めた。入金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努めた。更に歳出削減に努めた。また、常務理事の部会・支部への派遣も引き続き行った。新たな取り組みとして、平成26年10月4日（土）に開催された高知県支部総会のオープン講演会（高校生含む一般参加48名）で高橋幸資名誉教授及び野村義宏教授を派遣し講演をいただいた。同時に高校生に対して大学紹介を行った。また、平成26年11月15日（土）に開催された千葉県支部総会で、特別講演会（93名の参加）で遠山茂樹教授に講演をしていただき、いずれの講演会も盛会となった。

(4) 同窓会の現状と課題及び今後の対応

同窓会の改革、分収林の課題、海外支部設置等について、引き続き検討を行った。

(5) 集団部会の設置

「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動費等に関する規程第2条第2項」に基づく集団部会の設置の増加について努めた。

(6) 同窓会正会員の総会構成員登録

「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加について努めた。

(7) ホームページの充実

平成24年度に開設した「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねた。

(8) 同窓会PR活動の実施

同窓会紹介パンフレット（入学時及びベアレンツデーにて配布）及びホームページによるPR活動に努めた。

(9) 会員の動静整理の継続実施

農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。

(10) 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行った。

(11) 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助、並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。また、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実を図った。

(12) 会員の慶弔

祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

(13) その他

・東京農工大学創基140周年記念式典（9月19日開催）の準備作業に協力した。
・同窓会名簿発行再開の可否について検討を重ねた。
・災害に対するお見舞い（台風8号/台風11号・12号及びその後の集中豪雨御嶽山噴火/台風18号/台風19号/長野市城断層地震）を行った。
・「西川公也さんの農林水産大臣ご就任を祝う会」（2月16日開催）に際し、発起人会の支援を行った。

【別記2】平成26年度 収支決算報告書（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

(単位：円)

No.	区分	細分	項目	(A) 平成26年度 予算額	(B) 平成26年度 決算額	(A) - (B) 増減	備考		
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金）	300,000,000	300,000,000	0			
2			余剰金からの繰入（30%を超える分）	6,779,420	6,779,420	0			
3			上記以外の余剰金からの繰入	13,220,580	13,220,580	0			
4			収入合計（1～3）	320,000,000	320,000,000	0			
5		支出	他の財産へ繰出	0	0	0			
6			支出合計（5）	0	0	0			
7			基本財産残高（4-6）	300,000,000	300,000,000	0			
8	運用財産	収入	前年度繰越金	3,946,472	3,946,472	0			
9			入会金	4,800,000	4,920,000	-120,000	5,000円×984名=4,920,000円		
10			年会費	1,300,000	1,387,500	-87,500	1,500円×925名=1,387,500円		
11			終身会費	2,700,000	3,695,000	-995,000	(完納) 30,000円×120名=3,600,000円 (分納) 15,000円×2名=30,000円、10,000円×4名=40,000円 20,000円×1名=20,000円、5,000円×1名=5,000円		
12			賛助会費	28,100,000	28,890,000	-790,000	30,000円×960名=28,800,000円 留学生10,000円×9名=90,000円		
13			利息	1,900,000	2,155,744	-255,744	国債2,130,000円、預金25,744円		
14			寄附金	0	10,133,000	-10,133,000	一般寄附11件（大口寄附1,000万円）		
15			雑収入	300,000	250,000	50,000	農工通信広告料7件		
16			収入合計（8～15）	43,046,472	55,377,716	-12,331,244			
17			運用財産	支出	動静調査費	500,000	607,063	-107,063	後納郵便料、動静はがき等印刷費
18					会報発行費	11,000,000	9,519,481	1,480,519	農工通信87号（4,370,414円）88号（4,474,315円）発行費、編集委員会謝金6名、海外便発送費、メール便（通信もどり再送）
19					H P管理作成費	200,000	224,897	-24,897	新規、更新掲載料、サーバーレンタル料
20					部会・支部活動費	6,500,000	6,252,940	247,060	活動費（18部会、4集団部会、45支部）、総会補助金（9部会、36支部）、祝金（7部会、28支部）、講演謝金3支部
21					母校援助費	5,200,000	4,805,000	395,000	学会発表・コンクール出場、課外活動、キャリアアドバイザーへの援助
22					新入正会員歓迎費	800,000	747,650	52,350	卒業証書カバー
23					分収林管理費	50,000	27,820	22,180	分収林踏査見学（業者への見積依頼時）
24	資料整備費	200,000			178,767	21,233	新入生への案内パンフレットおよびアレランテナー用リーフレット印刷費		
25	事業費計（17～24）	24,450,000			22,363,618	2,086,382			
26	総会会議費	2,800,000			2,682,286	117,714	出席交通費（支部長、支部代議員）、懇親会費		
27	副会長懇談会費	70,000			89,752	-19,752	出席交通費、お弁当代		
28	常務理事会費	160,000			106,890	53,110			
29	会議費計（26～28）	3,030,000			2,878,928	151,072			
30	人件費	5,800,000			5,079,509	720,491			
31	社会保険料等	300,000			266,611	33,389			
32	備品費	500,000			318,664	181,336	マイク、チューナーユニット一式、データベース用パソコン購入		
33	消耗品費	1,000,000			1,074,872	-74,872	トータルサービス料、ノートパソコン購入 ※印刷量の増加		
34	通信費	950,000			557,900	392,100	電話料、振込手数料、振替手数料		
35	旅費	2,000,000			1,760,528	239,472	支部総会理事派遣交通費		
36	事務用品印刷費	60,000			45,360	14,640			
37	慶弔費	150,000			124,490	25,510	電報、生花代		
38	光熱水費	150,000			165,375	-15,375	電気料金		
39	職員厚生費	300,000			247,249	52,751	退職金2名、人間ドック補助金1名		
40	租税公課	0			437,664	-437,664	国債及び預金の利息にかかる都民税・市民税		
41	その他雑費	310,000			302,371	7,629	入会金・賛助会費の返付、感謝状作成費、損害保険料		
42	管理費計（30～40）	11,520,000			10,380,593	1,139,407			
43	予備費	4,046,472			216,000	3,830,472	事務所内ネットワーク整備工事		
44	支出合計（25+29+41+42）	43,046,472			35,839,139	7,207,333			
45	運用財産残高（16-43）	0			19,538,577	-19,538,577			
45	特定目的事業財産	収入			前年度繰越金	59,348,084	59,348,084	0	
46					余剰金からの繰入（30%を超える分）	0	0	0	
47					上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
48					収入合計（45～47）	59,348,084	59,348,084	0	
49		支出			八王子分収林育成事業費	0	0	0	
50			周年記念事業費	0	0	0			
51			学生援助事業費	0	0	0			
52			被災会員支援事業費	0	0	0			
53			図書・名簿等刊行事業費	0	0	0			
54			その他本財産に適合する事業費	0	0	0			
55			支出合計（49～54）	0	0	0			
56	特定目的事業財産残高（48-55）	59,348,084	59,348,084	0					
57	合計（7+44+56）	379,348,084	398,886,661	-19,538,577					
58	特定資産	八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0				
59	総合計（57+58）		412,225,484	431,764,061	-19,538,577				

【別記3】東京農工大学同窓会会則の一部改正

改正前	改正後
<p>第4章 役員等・代議員及び事務局職員</p> <p>(役員等の職務)</p> <p>第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括し、総会の議長となる。</p> <p>2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を行う。</p> <p>3 理事長は、理事会及び常務理事会の議長となり会務を処理する。副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を行う。</p> <p>4 理事は、理事会を、常務理事は、常務理事会を構成し、この会則の定め及び総会又は理事会又は常務理事会の議決に基づき、それぞれ会務の運営、事業の執行にあたる。</p> <p>5 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>一 理事及び常務理事の業務執行状況を監査すること</p> <p>二 本会の財産状況を監査すること</p> <p>三 前二号の監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合は、これを総会に報告すること</p> <p>四 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること</p> <p>五 理事及び常務理事の業務執行状況又は本会の財産状況について、理事及び常務理事に意見を述べ、もしくは理事会及び常務理事会の招集を請求すること</p> <p>6 名誉会長、名誉顧問、顧問は、会長等の役員に相談に応じると共に、総会から諮問された事項等について、参考意見を述べる。</p>	<p>第4章 役員等・代議員及び事務局職員</p> <p>(役員等の職務)</p> <p>第13条 会長は、本会を代表し、会務を統括し、総会の議長となる。</p> <p>2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を行う。</p> <p>3 理事長は、理事会及び常務理事会の議長となり会務を処理する。副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を行う。</p> <p>4 理事は、理事会を、常務理事は、常務理事会を構成し、この会則の定め及び総会又は理事会又は常務理事会の議決に基づき、それぞれ会務の運営、事業の執行にあたる。</p> <p>5 監事は、次に掲げる職務を行う。</p> <p>一 理事及び常務理事の業務執行状況を監査すること</p> <p>二 本会の財産状況を監査すること</p> <p>三 前二号の監査の結果、本会の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実があることを発見した場合は、これを総会に報告すること</p> <p>四 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること</p> <p>五 理事及び常務理事の業務執行状況又は本会の財産状況について、理事及び常務理事に意見を述べ、もしくは理事会及び常務理事会の招集を請求すること</p> <p>6 名誉会長、名誉顧問、顧問は、会長等の役員に相談に応じると共に、会長から諮問された事項等について、参考意見を述べる。</p>

改正前 第6章 会議	改正後 第6章 会議	
<p>(常務理事会) 第47条 常務理事会は、常務理事の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。ただし、常務理事は、書面若しくは電磁的方法をもって議長に議決権を委任できるものとし、その数を出席者数に含めることができるものとする。</p> <p>2 議事は、出席常務理事の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決するところとする。</p> <p>3 特に緊急を要する場合には、書面や電磁的方法による審議をもって常務理事会にかえることができる。</p> <p>4 その他運営に関して必要な事項は、別に定める。</p>	<p>(常務理事会) 第47条 常務理事会は、常務理事の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。ただし、常務理事は、書面若しくは電磁的方法をもって議長に議決権を委任できるものとし、その数を出席者数に含めることができるものとする。</p> <p>2 議事は、出席常務理事の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決するところとする。</p> <p>3 特に緊急を要する場合には、書面や電磁的方法による審議をもって常務理事会にかえることができる。</p> <p>4 会長または理事長が必要と認めた場合、常務理事以外の者を出席させ意見を聴取することができる。</p> <p>5 その他運営に関して必要な事項は、別に定める。</p>	<p>常務理事会に常務理事以外の者の参加を認め、多様な意見を聴取できるようにするため。</p>

附則 この会則の一部改正は、平成27年5月23日から施行する。

【別記4】平成27年度事業計画

1. 第52回理事会・通常総会の開催

平成27年5月23日(土)府中キャンパスにて第52回理事会・通常総会を開催する。議事内容は、1)平成26年度事業報告(案)、2)平成26年度収支決算報告(案)、3)平成26年度監査報告、4)同窓会会則の一部改正(案)、5)平成27年度事業計画(案)、6)平成27年度収支予算(案)、7)平成27・28年度会長・副会長の選任(案)、8)顧問の推挙(案)、9)特別会員の推薦報告、10)同窓会会員名簿の発行再開について、11)その他 会長の挨拶

2. 平成27年度副会長懇談会の開催

平成27年11月14日(土)、府中キャンパスにて平成27年度副会長懇談会を開催する。

3. 同窓会組織の強化、活性化及び財務体質の健全化

部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として以下のことを行う。

- 1) 同窓会誌「農工通信」：年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
- 2) 部会・支部活動：常務理事の部会・支部への派遣も継続を行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにする。講演会の開催支援など部会・支部への新たな支援の方策を検討する。
- 3) 同窓会ホームページ：平成24年度開設した「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用及び充実について更に検討を重ねる。部会・支部のホームページ立ち上げに協力する。
- 4) 集団部会：「東京農工大学同窓会部会・支部等の設置、廃止及び活動等」に対する規程第2条第2項」に基づく集団部会の充実に努める。

- 5) 会費等：入会金・賛助会費等の会費の90%を超える納付率の維持に努める。
- 6) 運営経費：歳出削減に努めるとともに長期的な資金保持・運用などについて検討する。
- 7) 総会構成員：「東京農工大学同窓会正会員の総会構成員登録規程第2条」に基づく総会構成員の登録の増加に努める。

4. 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 分収林：引き続き検討を行う。
- 2) 海外支部設置：引き続き検討を行う。
- 3) PR活動：同窓会紹介パンフレット(入学時及びベアレンツデーにて配布)及びホームページによるPR活動に努める。
- 4) 会員の動静情報整理：農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) 準会員に対する援助、新入正会員歓迎行事の継続実施：準会員(学生)の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、優秀卒論賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。また、同窓会と東京農工大学と相互に同窓会情報を共有し、就職支援等の充実を図る。
- 6) 会員の慶弔事の表意：祝電・弔電により祝意・弔意を表する。また、本会の発展に顕著な功績があった会員に感謝状を贈呈する。

5. 一般財団法人 東京農工大学教育研究振興財団への協力

財団の事務に対する実質的支援を従来どおり継続して行う。

6. その他

- 1) 部会の組織編成：さらに検討を加える。
- 2) 校歌・寮歌のCD作成：会員から希望のあった校歌・寮歌などのCD編集・作成を検討する。

【別記5】平成27年度収支予算

(単位：円)

No.	区分	細分	項目	平成27年度 予算額①	平成26年度 予算額②	差異 ①-②	摘要		
1	基本財産	収入	基本財産(前年度繰越金 6)	320,000,000	300,000,000	20,000,000			
2			余剰金からの繰入れ(30%を超える分)	2,925,263	6,779,420	-3,854,157			
3			上記以外の余剰金からの繰入	7,074,737	13,220,580	-6,145,843			
4			収入合計(1+2+3)	330,000,000	320,000,000	10,000,000			
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0			
6			支出合計(5)	0	0	0			
7			基本財産残高(4-6)→次年度繰越金	330,000,000	320,000,000	10,000,000			
8	収入	前年度繰越金	前年度繰越金	9,538,577	3,946,472	5,592,105	余剰金：19,538,577円 基本財産繰入金(30%を超える分)：19,538,577円-55,377,716円 (平成26年度取入金)×0.3(30%)=2,925,263円 上記以外の基本財産繰入金：7,074,737円 前年度繰越金：19,538,577-2,925,263円-7,074,737円=9,538,577円		
9			入会金	4,800,000	4,800,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(4,876,667円)を勘案し昨年と同額		
10			年会費	1,300,000	1,300,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(1,409,000円)を勘案し昨年と同額		
11			終身会費	2,700,000	2,700,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(2,869,000円)を勘案し昨年と同額		
12			賛助会費	28,100,000	28,100,000	0	過去3年間の収入実績の平均相当額(28,103,333円)を勘案し昨年と同額		
13			利息	1,900,000	1,900,000	0	昨年度実績額(2,155,744円)及び国債未購入分を勘案して昨年と同額。租税公課を別枠で計上。		
14			寄附金	0	0	0			
15			雑収入	300,000	300,000	0	平成26年度は250千円の実績。広告料収入増加を見込んで昨年と同額		
16			収入合計(8~15の計)	48,638,577	43,046,472	5,592,105			
17			支出	運	動静調査費	610,000	500,000	110,000	昨年度実績(607,063円)を勘案
18					会報発行費	11,000,000	11,000,000	0	昨年度実績額(9,519,481円)。増頁の可能性も考慮して昨年度予算額と同額
19					HP管理作成費	250,000	200,000	50,000	前年度決算額(224,897円)を勘案
20					部会・支部活動費	7,500,000	6,500,000	1,000,000	前年度決算額(6,252,940円)及び部会・支部活動の更なる支援を勘案
21					母校援助費	5,200,000	5,200,000	0	前年度決算額(4,805,000円)と増加見込額を勘案
22					新入正会員歓迎費	800,000	800,000	0	前年度決算額(747,650円)を勘案
23					分収林管理費	50,000	50,000	0	前年度決算額(27,820円)と本年度活動費の増を見込んで昨年と同額
24					資料整備費	200,000	200,000	0	前年度決算額(178,767円)を勘案
25	支	産			事業費計(17~24の計)	25,610,000	24,450,000	1,160,000	
26					総会会議費	3,400,000	2,800,000	600,000	前年度決算額(2,682,286円)。旅費支給額の増額を見込む。
27					副会長懇談会費	90,000	70,000	20,000	前年度決算額(89,752円)
28					常務理事会費	160,000	160,000	0	前年度決算額(106,890円)
29					会議費計(26~28の計)	3,650,000	3,030,000	620,000	
30					人件費	5,500,000	5,800,000	-300,000	前年度実績(5,079,509円)
31					社会保険料等	300,000	300,000	0	前年度実績(266,611円)
32					備品費	300,000	500,000	-200,000	前年度実績(318,664円)。本年度はパソコン導入費用の減を勘案。
33					消耗品費	500,000	1,000,000	-500,000	前年度実績額(449,552円)。消耗品費と複写機トータルサービス料を分けた。
34			複写機トータルサービス料	650,000	0	650,000	前年度実績額(625,320円)。消耗品費と複写機トータルサービス料を分けた。		
35	出	産	通信費	350,000	950,000	-600,000	前年度実績(333,502円)。通信費と振込手数料をを分けた。		
36			旅費	2,300,000	2,000,000	300,000	前年度実績額(1,760,528円)及び派遣常務理事旅費の増を見込む。		
37			事務用品印刷費	60,000	60,000	0	前年度実績額(45,360円)を勘案して昨年度と同額		
38			慶弔費	150,000	150,000	0	前年度実績額(124,490円)を勘案		
39			光熱水費	170,000	150,000	20,000	前年度決算額(165,375円)を勘案		
40			職員厚生費	300,000	300,000	0	退職金、人間ドック等		
41			租税公課	500,000	0	500,000	新規項目。前年度実績(437,664円)		
42	振込手数料	250,000	0	250,000	前年度実績額(224,398円)。通信費と振込手数料をを分けた。				
43	その他雑費	310,000	310,000	0	前年度実績額(302,371円)を勘案して昨年と同額				
44	支	産	管理費計(30~43の計)	11,640,000	11,520,000	120,000			
45			予備費	7,738,577	4,046,472	3,692,105			
46			支出合計(25+29+44+45)	48,638,577	43,046,472	5,592,105			
47			運用財産残高(16-46)→次年度繰越金	0	0	0			

No	区分	細分	項目	平成27年度 予算額①	平成26年度 予算額②	差 異 ①-②	摘 要
48	特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	59,348,084	59,348,084	0	
49			余剰金からの繰入 (30%を超える分)	0	0	0	
50			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
51			収入合計 (48+49+50)	59,348,084	59,348,084	0	
52		支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0	
53			周年記念事業支出	0	0	0	
54			学生援助事業支出	0	0	0	
55			被災会員支援事業支出	0	0	0	
56			図書・名簿等刊行事業支出	0	0	0	
57			その他本財産に適合する事業支出	0	0	0	
58		支出合計 (52~58の計)	0	0	0		
59		特定目的事業財産残高 (51-58) →次年度繰越金	59,348,084	59,348,084	0		
60		合計 (7+47+59)	389,348,084	379,348,084	10,000,000		
61	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価
62		総合計 (60+61)	422,225,484	412,225,484	10,000,000		

【別記6】 平成27・28年度 会長・副会長の選任

同窓会会則第11条第1項第1号「会長・副会長は理事会が推挙し、総会で選任する」に基づき、理事会は平成27・28年度会長・副会長に次の者を推挙する。
同窓会会長及び副会長 (平成27・28年度)

役職名	氏名	卒年度	推薦母体	役職名	氏名	卒年度	推薦母体
会長	草野 洋一	養蚕S47	常務理事会	副会長	羽田 有輝	製糸S43	製糸・高分子・生命工学部会
副会長	板橋 久雄	農 S39	農学・生物生産学部会	〃	千田 武	織高S46	繊維・有機材料部会
〃	安藤 俊幸	蚕糸S49	蚕糸生物学部会	〃	高野 文夫	化工S51	化学工学部会
〃	佐藤 令一	植防S54	植防・応用生物学部会	〃	前川 佳博	化工S48	応用分子化学部会
〃	柿内 久弥	農化S54	農芸化学・応用生命化学部会	〃	澤田 学夫	機械S40	機械システム工学部会
〃	岡山 隆之	林産S49	林産・生物資源工学部会	〃	竹村 淳	電子H3	電気電子工学部会
〃	楊 宗興	環保S54	環境科学部会	〃	安田 義道	応物S47	応用物理学部会
〃	本山 芳裕	林 S48	林学部会	〃	王 大慶	情報院H24	情報工学部会
〃	加藤 誠	農工S44	生産環境工学部会	〃	加藤 美治	MOT H21	M O T 部会
〃	小池 伸介	地生H13	地域生態システム学部会	〃	二見 能資	生シ院H14	B A S E 部会
〃	田谷 一善	獣医S46	獣医学部会				

【別記7】 部会理事・部会代議員の選任(交代)

高野 文夫氏 (化工S51) が平成27・28年度副会長に選任されることに伴い、その後任に、化学工学部会から推薦された次の者を部会理事に選任する。
化学工学部会理事 井上 修吾 (化工S62) (前任者の残任期間)
平成26・27年度 応用分子化学部会代議員 笠井 利彦氏 (織化S33) の逝去に伴い、その後任に、応用分子化学部会から推薦された次の者を部会代議員に選任する。
応用分子化学部会代議員 遠藤 幸一 (工化S46) (前任者の残任期間)

【別記8】 顧問の推挙

同窓会会則第12条 → 「本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問をおくことができる。名誉会長、名誉顧問及び顧問は総会で推挙する。」

東京農工大学同窓会名誉会長・名誉顧問・顧問の推挙規程 → 「長年に亘り(原則として4期8年以上)副会長等の要職にあった者、理事長の職にあった者、並びに部会・支部から推薦された者で、本会の発展に顕著な功績があったと認められる者とする。」

各支部から推薦のあった次の者を顧問に推挙する。

- 顧問 柳澤秀夫 (農工S28) (北海道支部)
支部長として平成9年から平成18年までの長きにわたり活躍された。
- 顧問 真木伸治 (養蚕S48) (宮城県支部)
連絡員として昭和54年から平成5年まで、支部長として平成19年から平成23年までの長きにわたり活躍された。

【別記9】 特別会員の推薦報告

同窓会会則第5条 → 「本学の現職教職員で理事会が推薦したもの。」
平成27年度 同窓会特別会員委嘱者 (敬称略)

教員 (18名)						職員 (8名)		
氏名	所属	職名	氏名	所属	職名	氏名	所属	職名
大栗 博毅	工学研究院	教授	藤本 雄一郎	工学研究院	助教	後藤 博明	総務部	部長
前橋 兼三	工学研究院	教授	矢野 史朗	工学研究院	助教	大坂 香織	学務部教育企画課	課長
徳山 英昭	工学研究院	准教授	岩田 陽子	大学教育センター	准教授	中山 考一	財務部経理調達課	課長
西田 浩之	工学研究院	准教授	馬淵 麻由子	大学教育センター	准教授	上原 光夫	財務部施設整備課	課長
Ventureur Gentiane	工学研究院	准教授	Esko I kauppinen	グローバルイノベーション研究機構	教授	東山 琢磨	総務部総務課	課長補佐
本郷 智子	工学研究院	准教授	NING-HUEI LIN	グローバルイノベーション研究機構	教授	塩原 秀	学務部学生総合支援課	課長補佐
水内 郁夫	工学研究院	准教授	Rowan F.Sage	グローバルイノベーション研究機構	教授	藤沼 好之	学務部入試課	課長補佐
森 啓二	工学研究院	准教授	Tammy L.Sage	グローバルイノベーション研究機構	教授	大河内 直樹	財務部施設整備課	課長補佐
北川 直哉	工学研究院	助教	Yong Pyo Kim	グローバルイノベーション研究機構	教授			

【別記10】 集団部会設置報告

集団部会名：農工大グローバル・コミュニケーション集団部会 (略称：NOKO G-Comm)
 部会長：永田春郎 (電気S47)
 活動内容：農工大学関係者及び地域住民に対し、海外で働いた経験を基にした情報の提供
 会員数：23名

【別記11】 同窓会会員名簿

- 第51回通常総会で提示した常務理事会方針
 - ・同窓会名簿の再発行はしない。
 - ・本年度の総会では結論を出さず、常務理事会としての判断について時間をかけて説明していく。
 - ・再発行しない方針の根拠
 - ①情報掲載の同意を得た者しか掲載できないので、名簿の機能が確保できない。
 - ②参考にもあるように、個人情報提供依頼は毎年かなりあり、この制度を利用すれば実質的には問題がないと判断する。

第51回通常総会議事録
 「渡邊理事長から資料に基づき、同窓会会員名簿再発行についての常務理事会方針が説明された。審議の結果、現在は発行しないと言う総会決定は生きていること、動静調査はがきの掲載不可欄の検討をすること、卒業時の動静調査はがきの記入徹底をすることを確認した上で、常務理事会方針が了承された。」

その後の対応

- ・動静はがき掲載不可欄の改正をした。
- ・卒業時に動静調査はがきを配布し記入周知徹底をした。
- ・逝去された方の情報を農工通信に掲載するため、動静はがきに逝去情報及び掲載可否記入欄を設ける（平成27年度より）。
- ・個人情報提供依頼マニュアルを作成した。このマニュアルは、今後「農工通信」に毎号掲載するとともに、ホームページにも掲載する。

<参考> 個人情報提供依頼件数

平成25年度		平成26年度	
大学	5件	大学	6件
部会	10件	部会	11件
支部	18件	支部	23件
クラス会	5件	クラス会	18件
研究室	8件	研究室	3件
その他	1件	その他	1件
合計 : 47件		合計 : 62件	

同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

同窓会役員等体制

会 長 (平成27・28年度)

草野 洋一 (養蚕S47)

副 会 長 (平成27・28年度)

板橋 久雄 (農 S39)	安藤 俊幸 (蚕糸S49)	佐藤 令一 (植防S54)	柿内 久弥 (農化S54)
岡山 隆之 (林産S49)	楊 宗興 (環保S54)	本山 芳裕 (林 S48)	加藤 誠 (農工S44)
小池 伸介 (地生H13)	田谷 一善 (獣医S46)	羽田 有輝 (製糸S43)	千田 武 (織高S46)
高野 文夫 (化工S51)	前川 佳博 (工化S48)	澤田 孚夫 (機械S40)	竹村 淳 (電子H3)
安田 義道 (応物S47)	王 大慶 (情報院H24)	加藤 美治 (MOTH21)	二見 能資 (生シ院H14)

常務理事 (平成26・27年度)

理事長 鈴木 創三 (農 S47)	事業部長 渡辺 元 (獣医S54)
副理事長 滝山 博志 (化工S62)	〃 淵野雄二郎 (農 S43) 海外支部担当
総務部長 大里 耕司 (農工S52)	〃 渡邊 敏行 (材料S61) 企画担当
〃 副部長 千年 篤 (農 S58)	〃 ボンサトーン・ラクシンチャラーンサク (機シス院H14) 〃
〃 野村 義宏 (農化S59)	〃 渡辺 直明 (林 S51) 分収林担当
〃 齋藤美佳子 (工化H1)	〃 亀山 秀雄 (化工S48)
経理部長 多羅尾光徳 (環保H3)	〃 夏 恒 (機シス工博H7) Facebook担当
〃 副部長 西澤 宇一 (機シスH12)	〃 近江 正陽 (林産S60) 〃
	〃 野口 恵一 (材料H1) HP担当
	〃 赤井 伸行 (環資H11) 〃
	〃 馬場真知子 (林学院S51) 会報担当
	〃 富永 洋一 (物生H7) 〃

監 事 (平成26・27年度)

生原喜久雄 (林 S41) 竹内 道雄 (農化院S50) 金子 由実 (織高S51)

事務局長 池谷 紀夫 (農 S49)

同窓会支部長及び連絡員 (平成27年6月末日現在)

支部名	支部長名	連絡員名	支部名	支部長名	連絡員名
北海道	長谷川周一 (農工S46)	宇野澤正美 (農工S46)	大阪	佐々木良和 (農工S39)	乗藤 幹男 (電子H1)
青 森	野村 昌志 (農工S39)	大橋 統州 (農 S54)	京 都	西村 寿 (農工S50)	松井 崇 (農工S51)
秋 田	野村 俊悦 (農 S44)	吉田 育男 (植防H4)	滋 賀	勝田 謙次 (織高S34)	南井 隆 (林 H1)
岩 手	東野 正 (林産S50)	谷内 博規 (林産H5)	奈 良	太田 道明 (農工S42)	望月 昇 (化工S57)
山 形	河野 詠 (獣医S45)	川崎 聡明 (生産H9)	和歌山	毛呂 眞 (林 S41)	中村 純子 (環資H6)
宮 城	田畑 正紀 (林 S55)	大類 清和 (林 H2)	兵 庫	橋田 勝明 (獣医S46)	安徳 剛志 (林 S59)
福 島	荒井 賢治 (農工S47)	三森 裕 (生産H13)	岡 山	内藤 照章 (獣医S34)	佐藤 和久 (農 S54)
茨 城	川村 重信 (養蚕S40)	藍原 伸夫 (蚕糸S59)	広 島	藤本 修身 (農化S44)	三宅 信行 (環保S55)
栃 木	村松梅太郎 (獣医S39)	南木 好樹 (農工S58)	山 口	赤木 道博 (獣医S49)	岡本 賢一 (植防H4)
群 馬	小野宇三郎 (織別S33)	唐澤 道史 (生産H7)	鳥 取	江原 宏昭 (農院S48)	小林 壽 (製糸S24)
埼 玉	池田哲二郎 (農 S43)	永留 伸晃 (林 H2)	鳥 根	中尾 清治 (農工S34)	松浦 史瑞 (林産H1)
千 葉	中村 圭一 (林 S39)	津金 胤昭 (応生H6)	香 川	岡崎 進 (獣医S38)	河野 幸彦 (林 S63)
東 京	馬場 信行 (林 S35)	山本 賢 (農工S43)	徳 島	長谷川 進 (工化S47)	小杉純一郎 (林 S63)
神奈川	則武 宏一 (農工S41)	住吉 稔胤 (林 S56)	高 知	寺峰 孜 (養蚕S45)	豊田 陽一 (蚕糸S57)
新 潟	佐藤 修 (農工S40)	高橋 紀男 (農工S60)	愛 媛	鈴木 東義 (工化S39)	尾中 直道 (林 H7)
富 山	青木 誠 (農 S37)	飯野 師 (地生H18)	福 岡	西田 晴二 (獣医S41)	白石 哲広 (林産S50)
石 川	北川 康一 (農工S46)	西山 宏 (環資H6)	佐 賀	御厨 秀樹 (植防S56)代行	御厨 秀樹 (植防S56)
福 井	友田 慶一 (織工S42)	新海 隆介 (環資H12)	長 崎	片岡 正登 (製糸S48)	古賀 淳士 (農 S52)
山 梨	石川 昇 (農 S37)	中井 薫 (農工S60)	熊 本	小邦 徹 (林 S41)	小野亮太郎 (農 S63)
長 野	鮎澤 光昭 (養蚕S42)	城取 和茂 (農工H3)	大 分	津崎 繁義 (製糸S46)	古長 茂亜 (林産S63)
岐 阜	安田 勝年 (製糸S42)	雨宮 功治 (植防S60)	宮 崎	小崎 宏 (農 S45)	井之上英行 (農工H4)
静 岡	栗原 績 (農工S42)	石川 晴子 (地生H16)	鹿児島	上原 武志 (植防S42)	平 繁人 (養蚕S45)
愛 知	上井 和彦 (農 S33)	水野銚一郎 (農 S42)	沖 縄	城間 恒紀 (農化S42)	河口 哲也 (応生H6)
三 重	古野 優 (獣医S60)	西野 実 (農 H7)	横浜会	松島 稔 (製糸S37)	加藤裕二郎 (製糸S44)

叙勲受章にあたり

人との出会い、めぐり合い

清水 実嗣 (獣医 S43)

平成26年秋の叙勲で瑞宝中綬章をいただき、身に余る光栄と大変嬉しく思っています。

私は昭和43年に農学部獣医学科を卒業し、農林省の家畜衛生試験場（現独立行政法人動物衛生研究所の前身）に勤務、研究職員として37年を過ごしました。その後、民間の微生物化学研究所（京都微研）でワクチンの開発研究を手伝い、この春に同研究所を退職しましたから、ほぼ半世紀にわたって動物衛生関連業務に従事したことになります。その間には様々なことがあり、2000年には92年振りに口蹄疫、翌2001年にはわが国初の牛海綿状脳症、2004年には79年振りの高病原性鳥インフルエンザが発生するなど、動物衛生問題が社会的関心を集めるようになりました。特にこれら緊急問題に対する対応に加え、国立研究機関の独立行政法人化（2001年）にともなう組織改編と管理運営方法の変更などが印象に残っています。また、京都微研では民間の厳しさと物作りの重要性を経験することができました。このように多くの出来事に遭遇しましたが、それらの対処に当たっては、大学や職場、学会、行政など様々な場で多くの人々と出会いめぐり会ったこと、このことが大きな支えになりました。よき師と先輩、同僚、友人そして後輩に恵まれたこと（反面教師を含め）に感謝しています。

大学時代は不勉強な学生でしたが、在学中も多くの先生にお世話になりました。中でもお二人の先生、教養部で生物学を担当されていた日高敏隆先生と獣医公衆衛生学教室助手（当時）の小川益男先生に出会ったことは、私が研究分野を志す原点となりました。私も参加していた日高ゼミで、日高先生は動物行動学ばかりでなく科学の意義、基礎科学の役割、科学と好奇心といった科学論についてもよく話され、また学生の青臭い議論にも真摯に応じてくれました。その中で「どのように」ではなく「なぜ」を問うのが科学の本質であるにも拘わらず、現在の科学研究のほとんどが「どのように」で終わっ

てしまっている、との話が心に残っています。残念ながら私の研究はすべて「どのように」で終わってしまいましたが、先生の問いかけは常に心の中にありました。一方、当時の小川先生は食品衛生で重要な低温（好冷）菌の研究を精力的に進めており、3年生の夏休みにコロニーの計数と手回し計算機によるデータ整理、使用済み培地の滅菌と洗浄など、実験の手伝いをしたことがあります。先生は実験の合間に研究の目的と意義などを熱く語ってくれましたが、残念ながらぼんくら学生には半分もわかりません。しかし、衛生学など応用研究、実用化研究の重要性だけを感じることができ、動物衛生研究を志望する私の背中を強く押すものとなりました。人との出会いと邂逅、縁の不思議をしみじみ感じています。

私も今年は71歳。厚生労働省の推計によると、70歳男性の平均余命は約16年とのこと。この年月をどの様に過ごしたらよいものか。引き籠もり老人はご免ですし、張り切りすぎて年寄りの冷や水といわれるのも困ります。その辺りの按配が難しく、「老人の品格」だの「不良老人のすすめ」と銘打った書物を参考に思案中です。先日の朝日新聞の折々の言葉欄に、戦時中の「贅沢は敵だ」のパロディーとして「贅沢は素敵だ」という言葉が掲載されていました。経済的贅沢など固より望むべくもありませんが、これからも悪友をたくさんつくり、悪友ともども不良老人として徹底的に贅沢をしようかなどと贅沢なことを考えています。

瑞宝小授章を受章して

栗原 績 (農工 S42)

平成26年秋の叙勲に際し、はからずも瑞宝小授章を拝受する栄に浴し、昨年11月4日に静岡県庁において、川勝平太静岡県知事から勲記勲章の伝達を受けました。次いで、11月11日に皇居に参内し豊明殿において天皇陛下に拝謁を賜りました。

これも、東京農工大学、静岡県庁はじめ、いろいろな場面でご指導ご支援いただいた多くの皆様のお蔭と、心から感謝しております。

叙勲の栄に浴し、これまでの人生を振り返って見ますと、いくつかの分岐点において幸運に恵まれてきたように感じます。

まず、東京農工大学で農業土木を学べたことです。

私は、大学に近い西東京市に生まれ育ち土木技術者に憧れていました。

自宅から通学できる土木系の学科を持つ国公立大学は、東京農工大学のみで幸運にも合格でき、全国からの多くの学友とともに素晴らしい先生方のご指導をいただきました。

卒業後の進路は、国と複数の府県を受験しましたが、私の力不足と地理的条件等から、昭和42年4月静岡県に農業土木技術職員として採用されました。

39年間の県庁勤務を振り返りますと、入庁から27年間は土地改良事業一筋でした。初めて県庁勤務となった昭和52年は第一次石油ショックの直後で、県営土地改良事業の新規採択は50億円～100億円に激減していましたが、新任計画係の私にはじっくり取り組み幸いでした。

入庁28年目に初めて農業関係部局を離れ、水資源調整室長を務め全国的な大渇水のなか、佐久間ダムから愛知県豊川用水への緊急導水等に取り組みました。

その後、農地整備課長・都市住宅企画課長・志太榛原県行政センター所長・環境部長・農業水産部長を務めた後、16年4月に静岡県出納長に就任しました。

退任後は、静岡県信用保証協会会長そして現在は、静岡県日中友好協議会理事長を務めております。静岡県と中国との交流の種を蒔かれた

のは大先輩の竹山祐太郎元県知事であり、しっかり受け継いでいかなければと思っています。

他県出身の技術職員に様々な仕事をさせていただいた静岡県、様々な時期・地域でお世話になった多くの皆様に大変感謝しております。また、今年結婚46年目を迎えた札幌出身の妻の内助の功にも感謝しています。

農業土木との出会いをいただいた東京農工大学のご発展、同窓の皆様のご健勝ご活躍を祈念いたします。

静岡県支部長

畜産の発展と伴に

津曲 公夫 (獣医S43)

私は、鹿児島県曾於郡志布志町に生まれました。宮崎県との県境の古くからの港町です。農漁業以外に大した産業はありませんが、曾於郡一帯は我が国最大の和牛生産地帯で畜産の盛んな地域です。高校卒業後、歴史を勉強したいと思い現役受験に失敗し浪人していたところ、衆議院議員の山中貞則先生に「君は将来何をやるのか？歴史を勉強しても高校の先生しかなれない。これからこの地は畜産を盛んにするから畜産を勉強しなさい。」と自信をもって言われました。

地元の鹿児島大学にも歴史と伝統のある獣医・畜産学科がありますが、高校の同級生の後輩になるのがいやで東京農工大学の獣医学科に、昭和39年の東京オリンピックの記念する年に入学しました。

入学と同時に構内にある駒場寮に入り、勉学と生活が一体の便利な広々とした環境の中で、先生方の親身な指導の下で伸び伸びと多感な4年間を過ごしました。

当初から農林省に入り行政をやるのが希望でした。最初の振り出しは我が国最大の畜産生産地である北海道浦河町にある日高種畜牧場で3年間過ごしました。日高地方は我が国最大の軽種馬生産地ですが、農林省の牧場では時代の趨勢から軽種馬生産から酪農に転換したばかりで、1000頭もの乳牛を育成し全国の酪農家に供給するのが仕事です。地元の軽種馬生産農家とも交流し、この北の大地の牧歌的な優駿の里で生産現場の業務を身につけながら、希望に満ちた公務員生活の第一歩を踏み出しました。

それから、畜産行政の幅広い分野に従事しましたが、山梨県畜産課長として現場行政に携



平成26年11月4日 於：静岡県庁
静岡県知事からの叙勲伝達式（妻と出席）

わったこと及び、経済企画庁に出向し各省からの出向者であるエリート官僚達と経済計画の策定という重要な仕事をしたことは、その後の役人生活に得がたい経験になりました。

そして、東海農政局次長を最後に平成11年に満55歳で農林水産省を退官しました。

その後、財団法人日本軽種馬登録協会、社団法人日本食肉格付協会、全国畜産農業協同組合連合会に勤務し、平成24年7月68歳で44年間に及ぶ勤務生活を終えました。

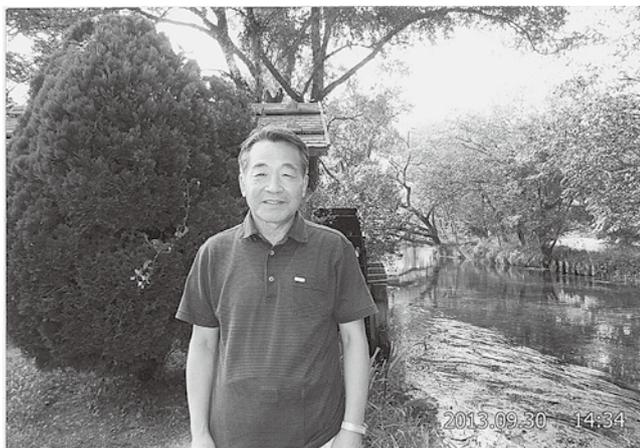
私が過ごした時代は高度経済成長期で畜産物の消費は年々増加し、生産も増加しました。役人の生きがいは、制度（法律）と予算を作ることだと云われますが、私もこの右肩上りの時代の中で多くの畜産の振興の制度と予算の企画・立案に参画し、忙しい毎日でしたがやり甲斐のある充実した日々を過ごしました。この間、農工大学の先輩（信藤謙蔵、山本格也、三浦昭一、香川壮一、小川諄、小池尚明などの各氏）に大変お世話になりました。

なお、平成10年から10年間、母校への恩返しのつもりで非常勤講師として獣医学科の学生に獣医畜産法規を講義しました。

いま振り返ると、私は自給飼料課長もやりましたが、輸入飼料穀物に依存しない我が国の国土に根ざした身の丈に合った持続性のある畜産を構築するのにもう少し努力ができなかったかと悔やまれます。

また、家内が6年前に癌で亡くなりましたが、家庭や育児のことは家内に任せきりで苦勞ばかりかけたとは今は悔恨と反省の毎日です。

平成26年秋の叙勲で瑞宝小綬章を拝受しました。有難いことです。今は、これまでにお世話になった方々に感謝し、元気に平穩に暮らしています。



叙勲受章にあたり

木崎 隆弘 (林S20)



平成26年春の叙勲で「瑞宝小綬章」を拝受いたしました。全く予期していなかったことだけに感慨一入でした。

私は当時の母校、東京高等農林学校林学科に昭和18年に入学、2年修了で、九州帝大農学部林学科に進み、同23年卒業、直ちに林野庁に入庁しました。

最初の任地は北見営林局で、春4月東京を出るときは桜が満開でしたが、北海道に入り石北峠を越える時、車窓は雪でとざされ、外の景色をほとんど見るのできない状態でした。時々見える針葉樹の巨木、それが私にとって、エゾマツ、トドマツとのはじめての出会いでした。

北見につき早速営林局に出頭、配属されたのが「事業部作業課」という木材を伐採、搬出する業務を担当するところでした。当時の作業は機械化が進んでおらず、専ら雪を利用した「冬山作業」ということで、伐採した木材は馬籠で運んでおりました。氷点下10～20度位のなかの仕事です。

北見には2年程勤務し、東京営林局へ転勤になりました。ここでは森林計画、造林等の仕事でした。

その頃、霞ヶ関では、中央官庁技術官の悲願であった「科学技術庁」が昭和31年に発足、通産・建設・農林・厚生等の各省や国鉄・電々等の技術官僚が集まってきました。私もその一員として出向しました。2年程して林野庁から営林署長に転出するよういわれ、九州高鍋、中津の署長を4年程勤めたところで、今度は、本省統計調査部へ、農林業センサス等の仕事でした。

その頃各官庁では国民向けに「経済白書」をはじめ、白書の作成が行われるようになり、林野庁でも「林業白書」を作るということで、その要員として本庁調査課への配属です。

ここも2年程で今度は奈良県林道課長への転出を命じられました。漸く地方行政にも慣れた頃、再び本庁「森林組合課総括課長補佐」へ、さらに「監査官」職を経て、当時岡山にあった「関西材木育種場長」に就任、ここには4年程おり、役人生活に終止符をうちました。

退官後は、上司の計らいで「(財)水利科学研究」の常務理事を2期6年努め、約40年ぶりに、東京青梅市にある生家に帰り、現在に及んでおります。

このような何度もの転勤、転地でしたが、ここでは必ず母校駒場の同窓生がおられ、時には励ましていただき、楽しく過ごすことができました。

母校があればこそと、いま改めて思い返しております。

また私事で恐縮ですが、この転勤には必ず家族同伴でした。家内も特別な不平もなくついてきてくれましたし、子供たちも幾度かの転校でもよき学生生活を送ってくれました。いま長男は、埼玉医大教授(血液内科)・副学長、次男は「国交省」の外部団体の役員をしています。

最後になりましたが、農工大学の益々の発展と、御関係の皆様方の御多幸を祈念して、筆をおきたいと思っております。



叙勲に感謝します

石崎 新一郎 (農S42)



平成25年秋の叙勲として瑞宝小受章を宮中で各省の多くの人々とともに授与されました。

農林水産省の看板を掲げた職員に誘導され、厳かに豊明殿に入り、天皇陛下の拝謁をうけると、私は、日本国のために何を貢献したのかなとの思いになった。

農工大学同窓生からも毎年春・秋の叙勲に多くの方が勲章を授与されています。私が、受賞について投稿をするのも気が引けます。

昭和42年3月、農学科卒、同年4月に入省し、平成9年大阪食糧事務所長で退官、この30年余の間、何をしたのか。記憶に残ることは、①八郎潟干拓事業に参加：今でも玄米の取引が継続しています。②パリのシアール国際食品展示会及びドイツケルン食品見本市へ日本として初めてJETROと協賛し国産農産物を出展、③平成5年の米騒動でのタイ国からの緊急輸入に対処、食管法の廃止、「悪法も法、法を執行するのも行政」といわれ食

糧庁の解体も一気に進んだ。この法の崩壊過程を学べたのも貴重だった。

退職後、民間団体役員に天下り1年間後に民間会社に転職、平成23年11月株式会社日本精米を起業、現在職員5名、元農水省事務次官上野博史さんを顧問に迎え、順調な創業となっています。会社概要は、インターネットで検索してください。

アメリカの場合、優秀な学生の職業選択基準は、1位創業、2位大手民間会社、3位公務員と言われています。

起業するには、2人以上の同僚が必要です。私は、妻の協力を得て発足し、採算の見通しを付けた6か月後、新人を採用しました。現在は、5名体制です、特に、中小企業の誤りやすいことは、家業と企業の混同です。このけじめが出来ず倒産した会社を多く見てきました。

幸い公務員の退職者は、共済年金を受給でき、社長の会社給与が少なく済む制度となっています。是非とも公務員には、天下りを止め、創業者となることを進めたい。

今、最大の課題は、後継者の育成確保です。創業資金の確保や資金繰りの金融機関の確保が必要不可欠です。その面で弊社顧問の存在は、貴重です。

行政と民間会社の両面から農業の姿を経験し、民間会社の方がリアルな実態を把握できたと思っています。民間は、この場合、会社と生産者の双方あります。公務員は、基本的に市場競争から距離を置いています。民間は、特に流通や生産まで見るとまさしく市場競争そのものです。

「より高品質で安全な農産物をより低廉で安定して販売できるか」の視点です。市場競争は、勝者と敗者が発生します。今国会で、農協法改正、生産調整の見直しをすることになります。農協の存在意義が問われます。

稲作に係る栽培技術や農業機械の進歩に目を見張るものがあります。コメ生産者の経営規模も200ha、300haの大規模生産者が各地に現れています。コスト競争が厳しく問われることとなります。本当の市場競争が、すでに始まっています。

戦前の旧地主の復活の時代が到来したと思っています。将来のある知的な若者は、農業生産に携わり、豊かな農村造り、生活の豊かな生産者(農家)の育成、農業は、今こそ夢のある産業になると信じています。

国際化する農業と行政の変化を先取りし、大学教育と連携し多面的な分野で次世代のわが同窓生が、公私に活躍することを心から期待したい。

株式会社日本精米 代表取締役

退職にあたり

農学研究院教授 鈴木 創三 (農S47)



昭和43年(1968)の4月、グランド脇の八重桜が、「染井吉野は散りぬれど、君がため咲く八重の桜」と暖かく「私の大学：農工大学」への入学を祝福してくれたことを、今でもあざやかに思い出します。

農工大での学部・修士の学生生活は本当に楽しく、充実したものでした。これは教授会の退職のご挨拶で「世界で一番素晴らしい大学、それは農工大学」と述べたように、「素晴らしい先生、先輩、友人、事務の方々との出会いと心温まる交流」、そして「土壌学を精一杯学べたこと」が大きかったからだと思います。

昭和49年(1974)からは仙台の東北大の博士課程を経て、十和田の北里大、灘の神戸大で研究・教育に携わりましたが、平成10年(1998)4月には農工大に戻り、「根圏土壌の粘土鉱物とカドミウム・放射性セシウムとの反応」、さらに「草地環境保全、有機・自然農業、セシウム除染のプロジェクト研究」も行うことが出来ました。

未熟というより不熟な私が、こよなく愛する「我が農工大」で退職を迎えられたことは、これまで暮らした先々でお世話になった皆様方のお蔭と、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

工学研究院教授 朝倉 哲郎



昭和56年2月に工学部製糸学科に助教授として着任してから、34年余りが経ち、本年3月に定年退職しました。所属学科の名前も、高分子工学科、物質生物工学科、生命工学科と変

わりましたが、一貫して、絹と核磁気共鳴NMRをキーワードに研究・教育活動を進めてきました。特に、絹構造を殆ど決定できたこと、さらに絹人工血管の開発へと進むことができたのは、養蚕と製糸から始まる本学絹研究の歴史と輝かしい成果の蓄積無には考えられません。工学部ベストティーチャー賞の創設、工学部附属繊維博物館から本学科学博物館への改組、そして昨年の博物館での企画展等、多くの思い出がありますが、ひとえに、本学の多くの皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げる次第です。私の親父は、国鉄当時、東小金井駅の開設に深く関わってきましたが、自分が、その東小金井を拠点とする工学部で長きにわたり奉職できたことは、回り合わせを感じるとともに、喜びに堪えません。本学の益々の発展を祈念し、感謝の気持ちを込めて退職の挨拶とさせていただきます。

農工大学の発展を願って

工学研究院教授 亀山 秀雄 (化工S48)



昭和57年1月から母校の化学工学科に助教授として赴任してから、33年が過ぎた今年の3月で定年退職しました。入学から数えると46年間の大学との関わりになります。今はシニアプロフェッサーとして長年教えてきた反応工学の講義を週2回担当しています。若いときは講義することに夢中で、目の届かなかった学生の個性にも最近は気がつくようになり、楽しみながら講義をしています。大学がこのような役割を与えてくれたことに感謝しています。工学研究では、学術的な価値発見に始まり、社会的・経済的価値を見だし、それを実現する工夫を行い、最後に市場でしっかりと価値を獲得する

までを研究プロジェクトとして考えるようになってきています。このことは、教育にも当てはまると最近思うようになってきました。学生さんの有している能力を見いだして、それが表面に出るように教育環境を設定し、時間をかけて能力が育って実行できるように支援し、最後に社会でその能力を発揮して社会に貢献できるようにするのが教育プロジェクトであると思います。その中で重要なのが、学生の潜在的な能力を発見することです。この重要性が近年忘れられているようなので、改めて教育の意味を再確認する必要性を感じています。退官した後も、同窓会の広報担当の常務理事として同窓会活動に係わりますので、農工大生の能力を引き出すような支援活動ができればと思うこの頃です。

工学研究院教授 関根 優年



1976年に東芝に就職し半導体・LSI・設計ツールの開発に従事し、1999年に電気電子工学科に教授として着任しました。以来、知能システムの基

盤となる再構成可能なシステムLSIの実現に関与し、16年を経て本年3月に退職しました。その間に、電子産業や半導体産業の浮沈と人工知能やロボットの発展など、変化の激しい時期を学生達と過ごして来ました。日本科学技術振興機構（JST）から獲得した研究資金により広い視点に立った研究を進め、その成果を研究会で発表した日々が思い出されます。知能システム分野では、プログラミングと同時に論理回路の設計能力も要求される競争が厳しい領域ですが、他大学からも注目される成果を諸君は次々と出して来たと言っても過言ではないと思います。中規模の大学である農工大では、過去の成果にとらわれずに済むからではと考えています。新たに発展していく技術の先を考え、進取の気風を持って挑戦する体験をしてもらえたら存外の喜びです。農工大から第一線に旅立たれた諸君の活躍で半導体分野を含め電子産業が復活する日を楽しみにしています。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、平成28年3月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

[農学研究院]

- 島田 清 教授 ● 竹内 道雄 教授 ● 辻村 秀信 准教授
- 寺岡 徹 教授 ● 畠山 史郎 教授 ● 平澤 正 教授

[農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター]

- 神田 修平 助教

[農学部附属硬蛋白質利用研究施設]

- 西山 敏夫 教授

[工学研究院]

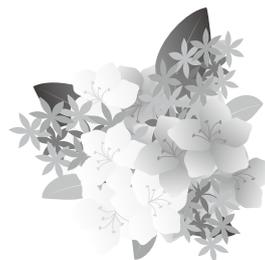
- 清水 本裕 教授 ● 鈴木 康夫 教授

[工学府]

- 伊藤 雅行 教授

[国際センター]

- 深尾百合子 教授



(氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです)

平成26年度 同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業とは、母校援助の一環として本学学生の皆さんの学会発表やコンテスト・コンクールへの出場、学科の選考による優秀卒業論文表彰、種々の課外活動に対して援助金を支給し、支援する事業です。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成26年度の援助金総額は5,552,650円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事 項	件 数	金 額
学会発表 <参加・出場>	521名	2,605,000円
学会発表 <入賞>	55名	550,000円
コンテスト・コンクール <出場>	7名8団体	115,000円
国際大会出場	3名	15,000円
コンテスト・コンクール <入賞>	2名3団体	50,000円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 <学園祭>	2件	200,000円
課外活動 <サークル活動>	20件	1,000,000円
課外活動 <リーダーストレージ>	1件	50,000円
キャリア・アドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,674名	747,650円
合 計		5,552,650円

※詳細については、同窓会ホームページ(<http://tuat-dousoukai.org/guide/student.html>)をご覧ください



PICK UP

進路・就職相談室の窓から



キャリア・アドバイザー 峰松 敏夫 (農S47)

農学部と工学部にある進路・就職相談室では、われわれ同窓生がキャリア・アドバイザーとして現役学生たちを支援しています。この相談室の存在も、年を重ねるごとに広く知られるようになり、平成26年度は、両キャンパスで延べ400人近い学生が何らかの相談に訪れました。

進学か就職か、民間企業か公務員か、などという進路選択に関する初歩的な話合いもあれば、エントリーシートの添削や各種の面接対策など、実践的な面での指導要請もあり、ありとあらゆる相談を引き受けています。

民間企業について言えば、平成27年度は、大手中心の新卒採用スケジュールが大きく変わり、広報開始が3ヶ月、選考開始が4ヶ月繰り下がりました。確かに学生にとっては、インターンシップ参加のチャンスが増えた、などというメリットはあったに違いありません。ただ一方で、時間があると油断している学生がいたり、逆に3月以前の選考情報等が入って、浮き足立つ学生も散見されました。理系学生は、学業が忙しくなる最終学年の重要な時期と就活のヤマ場が重なる可能性もあるわけで、むしろ研究と就活の両立が一層難しくなったのではないのでしょうか。まだしばらくの間は、厳しい残暑の中で汗だくになって頑張るリクルートスーツ姿にエールを送りたいところです。

農工大の就職支援体制は、他大学と比べて、決して充実しているとは言えないものを感じられます。そのためか、実社会に出て何をやりたいのかをイメージできていない就活生によく出会います。就職は長い人生の夢に向かってのスタートラインですので、「将来の自分のために」という心構えを忘れずに活動してほしいです。もちろん、今の農工大生が十分に“力”を出し切れば、きっと満足できる成果が得られると信じています。

私は常日頃から、限られた時間の中で学生自らが積極的に外気に触れ、多くの人と交流し、いろいろな体験をすることが就活成功への決め手になると考えてきました。今後も、OBアドバイザーの1人として、個々の相談対応のみならず、業界・企業の学内研究セミナーや社会人との交流会、会社見学会（工場・研究所）などの企画・推進にも少しは役立ちたいと思っています。

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好部会、クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧下さい。

部会だより

農学・生物生産学部会



開催日 平成26年11月29日(土)
 開催場所 農学部第1講義棟、50周年記念ホール
 派遣理事名 鈴木 創三 理事長
 実施事項 ・総会
 ・講演会
 (1)松本広太氏 (S49年卒農業生産組織学研究室)
 全国農業会議所 専務理事
 「農業改革を巡る動きについて」
 (2)益永利久氏 (S60年卒肥料学研究室)
 東京都農林総合研究センター江戸川分場長
 「東京農業の現状 - 江東地域のコマツナを中心に -」
 ・懇親会
 幹事・報告者 鈴木 創三 (農S47)

<幹事のコメント>

進行役の大川泰一郎(院H元)総務幹事の開会の辞、板橋部会長(農S39)から開会の挨拶、ついで来賓の鈴木理事長から招待の御礼、メルアド整備促進、海外支部部会設立、農工通信の西川農林水産大臣インタビュー、大学歌・寮歌CD作成などが報告された。次いで、1)平成24・25年度の会計・監査報告、2)平成26・27年度の総務および会計担当の交代、3)平成27・28年度の部会長として現会長の板橋氏の推薦、4)準会員幹事・世話役委員として山田哲也准教授を推薦することを承認した。畑中前同窓会長(農S31)から、総会内容の資料を作成配布することが前回に引き続き指摘され、総会の閉会后に総会会場で出席者の記念撮影を行った。また、懇親会は会場を50周年記念ホールに移して、鈴木理事長(農S47農院S49)の司会で開催され、畑中前同窓会長の挨拶、鈴木慎二郎(農S34、名簿ではS32とあるが要訂正)の乾杯に始まり、和やか雰囲気の中で話が弾んだ。会の途中で、年代別の出席会員諸氏の紹介と代表者の挨拶があり、最後に来賓の梶井元学長・現財団理事長の「蚕、生糸、皇后陛下-脳を耕す話」のあと、駒場小唄、色の黒い奴の斉唱、三本締め、記念写真を撮影し、めでたく御披露(お開き)とした。

環境科学部会



開催日 平成26年11月22日(土)
 開催場所 府中キャンパス生協食堂 参加人数 80名
 派遣理事名 多羅尾 光徳 常務理事
 実施事項 環境科学部会総会および懇親会
 幹事・報告者 楊 宗興 (環保S54)

<幹事のコメント>

環境保護学科設立41周年、第1期卒業生が還暦を迎える本年、環境科学部会の同窓会パーティーを開催しました。

前回の同窓会は環境保護学科設立15周年でしたので、26年ぶりの開催です。参加者は全体で80名、元教員は小倉、戸塚、瀬戸、本間、土器屋、原の各先生が出席下さいました。不参加の方からも数多くメッセージをいただきました。

冒頭に10分ほど総会を開催し、部会長から、1)同窓会名簿は今後冊子体としては発行しないこと、2)部会、支部会等からの依頼でのみ提供されること、3)連絡のスムーズ化、簡便化のためメールアドレスの収集を進めたいこと等について紹介がありました。その後の多羅尾准教授に司会を務めていただいた懇親会は、皆久しぶりの再会を楽しみながら盛況のうちに終了し、開催を喜ぶ声も多く聞かせていただきました。スタッフ(楊、武田、多羅尾、伊豆田、渡辺、水川)としても嬉しく思っています。次回をまた近いうちにと、これを契機に同期での集まりを、との声も聞かれており、今回をきっかけにさらに輪が広がればと思います。

なお、同窓会の折の写真が以下に掲載されています。メールで楊(yoh@cc.tuat.ac.jp)宛に連絡をいただければ下記URLを返信します。
<https://drive.google.com/open?id=0B1bW6oeP0ImZamg2cXE5ZWzOVU&authuser=0>

林学部会



開催日 平成26年11月29日(土)
 開催場所 府中キャンパス連合大学院
 派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
 実施事項 林学部会総会、特別講演会および懇親会
 幹事・報告者 戸田 浩人(林S59)

<幹事のコメント>

同窓会林学部会総会および記念講演会が、去る11月29日(土)に開催されました。本山会長の進行の下、総会では活動報告や会計報告・監査のほか、同窓会の部会のあり方や連絡体制強化のためのメールアドレス収集について活発な討論が行われました。つづく平成5年度卒の井上真理子会員(森林総合研究所 多摩森林学園 教育的資源研究グループ主任研究員)による「森林教育に関わって」の講演には、現役学生も多数参加してくれました。講演会後にはオリザにて懇親会となり、旧交を温めるとともに、今後いっそう現役学生をサポートしていけるような林学部会の活動について語り合いました。

生産環境工学部会



開催日 平成26年10月25日(土)
 開催場所 農学部第1講義棟、50周年記念ホール
 参加人数 45名
 実施事項 総会・講演会・懇親会
 幹事・報告者 帖佐 直(農工H4)

<幹事のコメント>

生産環境工学部会の総会、講演会および懇親会が開催されました。総会では、加藤部会長のもと会務報告、会則改訂の他、次期役員を選出などについて審議しました。懇親会では、参加された鈴木様より津軽三味線の演奏も披露されるなど、盛会のうちに終了することができました。

今回、部会として初の試みとして講演会を企画しました。同窓生の氣多様と本学教員の辰己先生に講師を務めて頂き、現役の学生や一般の方にもご聴講頂きました。

支部だより

北海道 支部



開催日 平成26年12月13日(土)
開催場所 KKRホテル札幌 参加人数 21名
派遣理事名 鈴木 創三 理事長
実施事項 26年度総会及びミニ講演会開催
幹事・報告者 宇野澤 正美(農工S46)

<幹事のコメント>

平成26年度の北海道支部総会は、12月13日、札幌市内において21名の出席者を得て開催しました。毎年、出席者のほとんどが農学部出身者で占められているのですが、今年は2名の工学部出身の会員が参加されました。大変嬉しいことであり、今後の新たな会員の参加に繋がればと期待しています。

総会では、26、27年度の事業関係議事後、柳澤秀夫さんの顧問推薦と岩崎徹さんへの感謝状贈呈が報告され、皆さんから温かい拍手が送られました。

その後、今回本部来賓としてお出でいただきました鈴木創三理事長から、大学創基140周年を迎え着実に進化している母校の紹介があり、続く「ミニ講演会」では根域土壌の話に加え、土壌へのセシウム吸着に関する新たな知見について講話をいただきました。

総会終了後は写真撮影してからお待ちかねの懇親会、大先輩から若手まで情報交換に花を咲かせ、最後は校歌を大合唱してお開きとなりました。

当支部においては若い出席者も少しずつ増えてきておりますが、今後とも、本道在住の同窓生の幅広い参加を呼び掛けていく所存です。

青森県 支部



開催日 平成26年11月15日(土)
開催場所 ラ・プラス青い森(青森市) 参加人数 15名
実施事項 (1)総会 議事①農工通信への原稿執筆について②その他
(2)親睦会 会員の近況報告等
幹事・報告者 大橋 統州(農S54)

<幹事のコメント>

北国青森の初雪過ぎた寒い日の会合となりました。

今回は昭和20年代卒業会員の出席が減りましたが、平成一桁年代卒業会員の出席が増えて、例年並みの15名の出席となりました。また、平成13年度以来13年ぶりに女性会員の参加を得ることができました。

野村支部長のあいさつ・大学の活動報告に続き総会、そして親睦会では乾杯のあと恒例の近況報告となりました。久しぶりのせいか話も弾み、時間を忘れて楽しいひとときを過ごし、3時間もあっという間に過ぎました。

岩手県 支部



開催日 平成27年3月7日(土)
開催場所 リストラテット 参加人数 18名
実施事項 2014年度会計報告および2015年度計画、支部活動体制について
幹事・報告者 谷内 博規(林産H5)

<幹事のコメント>

震災後、2年ほど活動ができない状況でしたが、昨年、今年と集いを開催しております。参加人数は18名で、最初は、会計報告や計画、支部活動体制など形式的な内容もあり、参加された方々は、みな遠慮がちで、静かな始まりでした。しかし、若い方、新規の方の参加もあり、参加者の自己紹介、近況報告の途中から、和気藹々とアットホームな集いとなりました。今後、支部の集いへ、同窓生が一人でも多く集まるよう活動して参ります。

山形県 支部



開催日 平成26年11月1日(土)
開催場所 山形国際ホテル 参加人数 28名
派遣理事名 西澤 宇一 常務理事
実施事項 総会、活動発表、懇親会
幹事・報告者 川崎 聡明(生産H9)

<幹事のコメント>

平成26年11月1日に本部理事の西澤宇一先生に御出席を賜り、山形県支部総会を開催しました。

総会では、新役員選出の審議に続き、来賓の西澤先生より大学の近況等についてお話をいただきました。また、今回は河野支部長の発案により、支部会員の活動発表の時間を設けたところ、出席者最年長の白田尚氏(獣畜S25)はじめ5名の方から日頃の活動や仕事内容等について発表して頂き、幅広い分野で支部会員が活躍されていることを改めて実感しました。

懇親会では、会員夫婦で日本酒造りに励む和田酒造(資)の美味しい日本酒をいただきながら、とても楽しい時間を過ごしました。今回は初参加の会員も多く、会員同士の新たなつながりを期待する総会となりました。

宮城県 支部



開催日 平成26年7月19日(土)
開催場所 ホテル白萩 参加人数 26名
派遣理事名 千年 篤 常務理事
実施事項 第1号議案 平成25年度収入支出決算について
第2号議案 平成26年度収入支出予算について
幹事・報告者 大類 清和(林H2)

<幹事のコメント>

東日本大震災からの復興に向け歩み続けている宮城県において、支部総会が開催されました。

総会には、昭和32年卒から平成23年卒までの様々な世代の会員が参加し、今年初めて参加された方もおり、会員間の交流を広げることができました。

総会では、議案についての承認後、本部来賓の千年篤教授から農工大の近況等についてご講演いただき、グローバル化に向けて変わりつつある農工大を頼もしく思うことができました。

各会員からの近況報告や特技の披露もあり、予定時間をオーバーし、2次会にもほとんどの会員が参加するなど、盛大な総会となりました。

福島県支部



東京農工大学同窓会福島県支部
第49回 通常総会

開催日 平成26年7月12日(土)
開催場所 ホテル福島グリーンパレス 参加人数 39名
派遣理事名 渡辺 元 常務理事
実施事項 議事内容：平成25年度事業報告、平成26年度事業計画の承認、役員改選
 講演・討論会等：渡辺教授から農工大の近況について懇親会
幹事・報告者 三森 裕 (生産H13)

<幹事のコメント>

去る平成26年7月12日(土)、「福島グリーンパレス」(福島市)において第49回総会が会員39名の出席のもと、本部事業部長の渡辺元教授のご臨席をいただき盛大に開催されました。
 議事に入る前、昨年度からこれまでに支部事務局に連絡があった5名の物故者を紹介し、黙祷によりご冥福をお祈りしました(物故者：岡部光波(桑16)氏、渡辺恭兵(農19)氏、柳沼泰衛(蚕31)氏、後藤喜代治(蚕32)氏、細田英夫(糸32)氏)。
 総会では、瓜田章二(糸院48)氏の議長により、平成25年度事業報告並びに平成26年度事業計画が満場一致で了承されました。
 役員改選については、生沼俊夫(蚕35)氏が支部長を退任されて顧問となり、新たに支部長として荒井賢治(農工47)氏、副支部長として河田明芳(蚕45)氏、幹事長として渡部正明(環保55)氏、幹事として稲留薫(蚕49)氏、監事として長澤幸弘(農工54)氏、矢島環(生物H6)氏が選出されました。(生沼支部長ありがとうございました)。
 荒井新支部長はじめ新役員の皆様、よろしくお願ひします。
 総会終了後は、恒例の懇親会を開催しました。今泉正規(機工38)氏による乾杯後、渡辺教授から母校の近況について、写真や様々なエピソードとともに詳しくご紹介をいただきました。また、新会員の紹介(山口智弘氏、小川明日香氏、山田洋介氏、薄井智之氏)や、滋賀県庁から福島県庁に応援職員として派遣されている園田敬太郎(農60)氏からのお話、目黒友(蚕53)氏による余興が行われたほか、さらに、大学校歌を教授と参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気でお話が進みました。今回は、諸先輩方に加えてフレッシュな参加者も多く、大変盛り上がりました。参加者の面々は来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

群馬県支部



開催日 平成26年5月16日(金)
開催場所 前橋テルサ 参加人数 30名
派遣理事名 亀山 秀雄 常務理事
実施事項 事業報告及び計画、派遣理事による講演会
幹事・報告者 唐澤 道央 (生産H7)

<幹事のコメント>

活動を再開して、今回で4回目となります。今回も、後援会と懇親会の二本立てで構成し、来賓の亀山先生には、本学同窓会の近況のほか、先生自身の研究テーマをご紹介いただきました。皆さん、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。
 また、今年は、富岡製糸場の世界遺産登録を控えていたこともあり、蚕糸学科出身の方、世界遺産関係の仕事をしている方、候補地の付近にお住まいの方などの話に活気があり、話題の中心に養蚕業や蚕糸業があったように思いました。
 総じて、皆さんたいへん元気でありました。
 現在、支部同窓会には、工学部出身者の出席が少ない状況ですが、今後は、いろいろな方々が参加できるように、工夫をしてみたいと思います。

埼玉県支部



開催日 平成26年7月27日(日)
開催場所 パイオランドホテル 参加人数 22名
派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事
実施事項 平成26年度総会及び懇親会
幹事・報告者 稲場 康仁 (農工S61)

<幹事のコメント>

平成26年7月27日に、支部会員21名及び本部理事の淵野雄二郎先生に御出席を賜り、平成26年度埼玉県支部総会を開催しました。
 総会では、平成25年度事業報告並びに決算報告、平成26年度事業計画並びに予算案について審議され承認されました。
 来賓あいさつでは、淵野先生よりあいさつを兼ねて大学の近況などについてお話をいただきました。
 総会終了後には、懇親会を行い懐かしい大学の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。
 今年度は平成以降の卒業生が2名しか出席せず、参加者も減ってきていることから、次回はもっと若手が参加しやすい雰囲気を作っていきたいと思ひます。

千葉県支部



開催日 平成26年11月15日(土)
開催場所 ホテルプラザ菜の花 参加人数 93名
派遣理事名 遠山 茂樹 先生、西澤 宇一 常務理事
実施事項 (1)平成24・25年度事業活動報告及び会計報告についての検討
 (2)平成26・27年度事業活動方針及び予算(案)についての検討
 (3)第23期役員についての検討
 (4)東京農工大学の現況報告(東京農工大学 工学部 機械システム工学科 西澤 宇一 助教)
 (5)講演「農業用パワーアシストスーツと周辺技術の開発」
 東京農工大学 工学部 機械システム工学科 遠山 茂樹 教授
 (6)懇親会
幹事・報告者 津金 胤昭 (応生H6)

<幹事のコメント>

千葉県支部では、2年ぶりの支部総会を開催しました。遠山茂樹先生と西澤宇一先生にご臨席いただくとともに、20代30代の若い会員の出席もあり、参加者は前回を上回る93名と盛大な総会となりました。
 講演では、遠山先生から「農業用パワーアシストスーツと周辺技術の開発」と題して、農作業の効率化を実現するパワーアシストスーツの開発や農産物の生産管理により消費者の安全を確保するIC技術などのお話がありました。
 懇親会では、大学時代の思い出話や近況の報告に盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

神奈川県支部



開催日 平成26年9月6日(土)
開催場所 東京農工大学50周年記念ホール
参加人数 29名
派遣理事名 鈴木 創三 理事長
実施事項 校内見学、支部50周年記念行事(記念植樹)、平成26年支部総会
幹事・報告者 日下 義行 (農工S59) 笠木 一行 (農工S62)

<幹事のコメント>

同窓会神奈川県支部は創立50周年を迎えたことから、本年度の総会は母校で行うこととしました。

暑さの残る9月6日、支部会員28名が東京農工大学50周年記念ホールに集合し、本部理事長である鈴木教授（農学部生物生産学科）をお迎えしました。

母校に来たのは「卒業以来」や「数十年ぶり」の会員が多く、「変わったねえ」逆に「変わらないねえ」と挨拶が交わされていました。

そして、鈴木教授の案内で校内見学、その後にはハナモモの記念植樹、支部総会、懇親会と続き、盛会にうちに終わることができました。

記念植樹やホールでの総会を開催するにあたりましては、同窓会事務局の池谷様や米山様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

**新潟県
支部**

開催日 平成26年6月6日(金)
開催場所 パーティーポイント プラスサード 参加人数 20名
実施事項 役員改選、本部総会報告等
幹事・報告者 高橋 紀男(農工S60)

<幹事のコメント>

第51回新潟県支部総会は、平成26年6月6日(金)新潟市内のパーティーポイント プラスサードにおいて、総勢20名の参加をもって開催されました。

新役員体制等の議案決議に加え、本部総会の議事報告がなされました。また、支部50周年記念事業で会員の大学時代の思い出等をまとめた記念誌が披露されました。

その後の懇親会は、世代を越え母校での思い出や旧友のことなどに花を咲かせ、大いに盛り上がりました。

支部同窓会活動の活性化と来年の再会を誓いながら散会しました。

**富山県
支部**

開催日 平成27年3月14日(土)
開催場所 五万石本店(富山市) 参加人数 13名
派遣理事名 野口 恵一 常務理事
実施事項 総会及び懇親会
幹事・報告者 串田 泰彦(農学S62)

<幹事のコメント>

平成26年度の富山県支部総会を野口広報・情報副部長をお迎えて開催しました。

今回は、50年間の悲願であった北陸新幹線の開業日という記念すべき日に開催することができました。

野口先生からの近況報告では、昔とは様変わりした様子などに驚いたり、感心したりしました。

総会での1年ぶりの再会の方も多く、また、皆さん富山駅周辺のにぎやかさを体験しながら参会されたこともあり、新幹線の話など、楽しく懇談することができました。

若い方の参加も少しずつ増えてきており、今後とも幅広い世代から参加していただけるように努めてまいります。

**石川県
支部**

開催日 平成27年3月18日(水)
開催場所 井門金沢ビル 参加人数 9名
実施事項 総会及び懇親会
幹事・報告者 西山 宏(環・資H6)

<幹事のコメント>

北陸新幹線開業直後の金沢駅近くの会場で、総会及び懇親会を

開催しました。

当日は春の陽気を感じさせる暖かな日となり、昭和46年から平成25年卒までの9名の参加者が、昔話やそれぞれの近況等を報告し、同窓の集いに花を咲かせていました。

今後も幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の輪を広げていくことを皆で誓い閉会となりました。

**岐阜県
支部**

開催日 平成26年6月15日(日)
開催場所 高山グリーンホテル 参加人数 14名
派遣理事名 渡邊 敏行 常務理事
実施事項 第11回農工大岐阜県支部同窓会通常総会
幹事・報告者 安田 勝年(製糸S42)

<幹事のコメント>

去る6月15日に、創立以来(昭和39年4月)数えて11回目の農工大岐阜県支部同窓会を開催しました。

初めて飛騨高山市(高山グリーンホテル)における通常総会となり、新規参加者を含む14名を迎えて開会しました。

この日は、東京農工大学同窓会本部常務理事、渡邊敏行先生をお招きし、最近の大学の教育研究の取り組みや同窓会本部の運営についてお話を伺いました。21世紀の世界が直面する課題は、人口爆発による食糧危機やエネルギー不足などであり、その解決には、グローバル化の波に遅れず、国際的な競争力を持つ研究体制の確立が不可欠とのこと。農工大も国際社会で指導的な役割を担える高度な専門職業人材、高い研究能力を有する研究者育成が急務であることから、優秀な学生たちに、海外留学を体験させる支援を、農工大同窓会本部からも行いたいとお話でした。最後に、卒業生の皆さんにも協力をお願いしたいとの要望を頂き、今後検討することにしました。

この後、幹事から24年から26年までの事業活動、会計報告がなされた後、支部役員の改選を行い、新支部長・安田、新世話役幹事・雨宮氏による新体制により、今後支部運営を行うことを満場一致で決しました。

引き続き参加者は飲食を共にして意気投合し、大いに語り合い、今回の支部総会での再会を約束し、宴を閉幕としました。

**静岡県
支部**

開催日 平成26年3月1日(土)
開催場所 クーポール会館(静岡市) 参加人数 41名
派遣理事名 渡邊 敏行 理事長、池谷 紀夫 事務局長
実施事項 議事：(1)平成25年度事業報告、(2)平成26年度事業計画、(3)その他、講演：「岩手三陸の漁港復興に携わって」～三陸復興の現場で感じていること～<講師>松井活夫(農工S49)、懇親会
幹事・報告者 五十嵐 香介(地生H15)

<幹事のコメント>

当日は渡邊理事長、池谷事務局長の両名にご出席いただき盛大に開催されました。総会は岩手県で災害復興に携わっている松井活夫氏(農工S49)による講演を中心に、丸山直樹名誉教授(林S41)による活動の紹介や勝俣昇氏(農工S30)による著書『再びの砂地獄』の紹介など多岐にわたりました。

総会後の懇親会では社会人1年目の若者から80歳を超えてもまだまだ元気な年配者までが一緒になって会を楽しみました。

なお、今回をもって長年静岡県支部長として支えていただいた水口衛氏(獣医S29)が顧問に勇退され、栗原績氏(農工S42)が新支部長に選出されました。

開催日 平成27年3月8日(日)
開催場所 クーポール会館(静岡市) 参加人数 47名
派遣理事名 渡邊 敏行 常務理事
実施事項 平成26年事業報告、平成27年事業計画、平成27～28年役員について
幹事・報告者 石川 晴子(地生H16)

<幹事のコメント>

S34年養蚕学科卒の中井先輩による稲と協働に関する講演を聞き、新しい分野に触れるきっかけとなった。諸先輩方のご指導により、若い年代の出席が多かったため、来年度からも参加してもらえよう働きかけていきたい。

愛知県支部



東京農工大学同窓会愛知県支部 2014-11-15

開催日 平成26年11月15日(土)
 開催場所 百楽(名古屋市) 参加人数 30名
 派遣理事名 千年 篤 常務理事
 実施事項 (1)第47期収支決算報告、(2)役員改選
 幹事・報告者 北原 敬悟(農工S31)

<幹事のコメント>

先ず、千年教授から母校の近況についてパワーポイントのプリントで詳細な説明がありました。卒業後、半世紀以上を経た者にとってはその発展、変貌には驚くばかりでした。

総会は、2年半振りの開催でしたが30名の方に参加していただきました。最長老は昭和17年卒(1942)久野様(獣)、若きは平成21年卒(2009)と実に69年に亘る同窓生が一堂に会し、その伝統の深さが感じられました。

和気あいあいと自己紹介を行い、年を召された方はその豊富な経験と知識を、若い方はこれからの抱負と意欲を語り合って盛り上がり有意義なひと時を過ごしました。

ただ残念なのは、この総会の案内を700余名の方に差し上げましたが、400余名の方から返信がありませんでした。この傾向は平成年代の同窓生に多くみられるようです。

同じ大学に学んだ者としての絆を確かめ、こうした総会は情報交換の場としても有効であるとの認識で、同窓会に対する関心を深めるような活動を行うことが必要と感じました。

三重県支部



開催日 平成26年9月7日(日)
 開催場所 新玉亭(津市) 参加人数 16名
 派遣理事名 滝山 博志 副理事長
 実施事項 本部総会報告、役員改選
 幹事・報告者 西野 実(農H7)

<幹事のコメント>

平成26年9月7日に例年どおり、津市の新玉亭で三重県支部総会を開催しました。本年から幹事を交代したため、若干の不便がありましたが無事開催することができました。

総会には滝山博志先生から大学の近況についてご報告いただきました。懇親会ではうなぎを食べながら、近況報告などを行い大いに盛り上がりました。

京都府支部



開催日 平成26年9月6日(土)
 開催場所 祇園 美登幸 参加人数 15名
 派遣理事名 大里 耕司 常務理事
 実施事項 総会、交流会
 幹事・報告者 松井 崇(農工S51)・平野 孝志(農工S53)

<幹事のコメント>

支部活動を再開して5回目となる今年の同窓会京都支部の総会・交流会が同窓会本部から大里理事(農工S52)をお迎えして15名の参加で行われました。

総会では植村左千夫支部長(林S20)が就任5年を経過すること、高齢であることから今回をもって退任され、新支部長に西村寿氏(農工S50)を選出、また連絡員は松井崇氏(農工S51)に交替することとなり、新たな体制で支部活動を進めていくこととなりました。

大里理事(農工S52)の乾杯発声で交流会がはじまり、今年は5回目となることから「京都の伝統文化に触れる」をテーマに、祇園の舞妓さん、芸妓さんの優雅な「京舞」と「お座敷文化」を、京料理に舌鼓を打ちながらゆったりとした雰囲気の中古都の風雅を堪能しました。

お座敷遊びの定番「金比羅ふねふね」「とらとら(虎々)」では、ほとんどの参加者が初めての経験で最初は遠慮がちにいましたが、そのうち場も盛り上がり舞妓さん、芸妓さんとの楽しいお座敷文化を満喫できました。

夜の祇園で楽しく優雅なひとときを過ごすことができ、来年の再会を楽しみに散会となりました。一部の参加者はそのまま祇園・花見小路の路地に消えていきましたが・・・。

兵庫県支部

開催日 平成26年7月5日(土)
 開催場所 パレス神戸 参加人数 15名
 派遣理事名 斉藤 美佳子 常務理事
 幹事・報告者 安徳 剛志(林S59)

<幹事のコメント>

- ・毎年15~20名の出席者である
- ・民間企業からの出席者はあまり多くはない

岡山県支部



開催日 平成26年8月2日(土)
 開催場所 ピュアリティまきび 参加人数 23名
 派遣理事名 渡辺 元 常務理事
 実施事項 研修会、総会、懇親会
 幹事・報告者 佐藤 和久(農S54)

<幹事のコメント>

本年度は、例年になく多数の出席(うち女性会員2名)を得て、大いに盛り上がりました。

研修会では、まず本部事業部長の渡辺元先生から本学の近況についてご講話を、続いて、倉敷芸術科学大学客員教授の大島誠之助先生(同窓会東京都支部会員)より「農工大馬術の今の昔」と題したご講演をいただきました。

総会では、山田氏、佐野氏の2名を新たに理事として加えることになりました。次年度活動のさらなるパワーアップが期待されます。

広島県支部



開催日 平成27年3月8日(日)
 開催場所 メルパルク広島 参加人数 17名
 派遣理事名 大里 耕司 常務理事
 実施事項 議事内容:会計報告、役員承認
 講演・討論:大里常務理事から大学の現況報告等
 幹事・報告者 三宅 信行(環保S55)

<幹事のコメント>

例年になく、初めて参加の会員がおられた総会でした。特に幹事にとっては、職場に入りたての後輩が出席してくれたことがなによりうれしく思えました。

昨年失敗した集合写真が無事撮れたこともホッとしました。
当日の近況報告は、いつになく盛り上がり、時間を気にした幹事がマイクを強制的に廻してしまいました。話し足りなかった皆さん申し訳ありませんでした。

山口県支部



開催日 平成26年7月20日(日)
開催場所 長州さくら牧場(萩市) 参加人数 12名
派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事
実施事項 派遣理事によるミニ講演会、支部総会
幹事・報告者 岡本 賢一(植防H4)

<幹事のコメント>

今回は、赤木支部長が自ら経営する長州さくら牧場で開催しました。牧場を望んでのミニ講演会、支部総会・懇親会(バーベキュー)は、講演を引き受けてくださった淵野先生をはじめ、集まった支部会員の方にも満足していただけだと思います。
今回は、懇親会=新規会員歓迎会と銘打って臨んだのですが、事務局の力不足もあり新規会員の参加は叶いませんでした。
参集メンバーが固定化された感が否めない当支部ですが、来年も元気に再会したいと思います。

鳥取県支部



開催日 平成27年2月8日(日)
開催場所 東郷温泉「水明荘」 参加人数 9名
派遣理事名 野口 恵一 常務理事
実施事項 会員近況報告、母校・本部の報告、今後の活動計画
幹事・報告者 門脇 互(製糸S54)

<幹事のコメント>

近年、出席者が10名に満たないことが続いています。今年も自己紹介で出てくる、在学当時の学生寮、近隣の食堂や喫茶店などの話題になると、他の出席者からも関連するエピソードも出るなど、楽しくゆるやかな時間を過ごすことができました。
今年、本部から野口恵一常務理事にご出席いただき、大学や同窓会の近況報告をいただきました。ここでも、あそこはどうなっていますか?など、卒業以来、母校とは疎遠になっている出席者からの質問や、また母校に行ってみたいなあ、との声が出る場面もありました。
これからも鳥取県在住の会員確認を行うとともに、来年以降も若い世代の出席を促しつつ、より多くの会員が出席いただけるよう充実した楽しい支部にしたいと考えています。

香川県支部



開催日 平成26年10月25日(土)
開催場所 リーガホテルゼスト高松 参加人数 12名
派遣理事名 大里 耕司 常務理事
実施事項 大学の近況報告、懇親会
幹事・報告者 河野 幸彦(林S63)

<幹事のコメント>

平成26年10月25日(土)に同窓会本部理事として、農学部地域生態システム学科大里耕司先生をお招きして、リーガホテルゼスト高松で開催しました。

香川県支部では、平成24年から3年続けて本部からの理事をお招きしての支部総会となり、支部からは、岡崎支部長をはじめとする12名の参加者で開催されました。

会は、岡崎支部長の挨拶で始まり、大里先生による本部の動向、現在の農工大学についての情報をDVDを使いつつ、教えていただきました。(事務局のPCの調子が今一つで、DVDが最後までお見せできなく申し訳ありませんでした。)

その後、懇親会に移り、参加者の自己紹介、近況報告、支部関係者の近況報告等を交えながら和やかに会は進み、岡崎支部長から、これからも毎年支部総会を開催しつつ、会の運営をどのように進めるか、特に若年層の会員をどう取り込むかを真剣に考えなければならぬというお話で、地方支部の運営上の課題を皆様にも認識していただいた状況でした。これについては、優秀な本学卒業生が希望すれば、積極的に採用したいという県内の某大手メーカー人事担当役職の方の心強いお話もあり、先輩から後輩にうまくタスキを渡すように支部の運営が滞りなく行われるとともに、参加者皆様方のご健勝を祈念しつつ、来年の開催を期して第14回の香川県支部総会を終えました。

高知県支部



開催日 平成26年10月4日(土)
開催場所 高知城ホール
参加人数 支部総会9名
オープン講演会(支部会員11名+一般参加48名)
派遣理事名 高橋 幸資 理事、野村 義宏 常務理事
実施事項 ①農工大創基140周年を記念してのオープン講演会
②平成25年度事業並びに収支決算報告、懇親会
幹事・報告者 豊田 陽一(蚕糸S57)

<幹事のコメント>

今年、農工大創基140周年を記念して同窓会員外の一般の方も対象としたオープン講演会も企画しました。講演会は、同窓会員の支部活動への参加が少しでも増えるようにということと、農工大のPRを目的とし、農工大で行われている研究の紹介として「食と生活」をテーマに高橋名誉教授及び野村教授の講演と、農工大の紹介の2本立てで行いました。オープン講演会の開催にあたっては、チラシの作成と食品関係会社や予備校や高校への配布、マスコミでの広報、支部役員から知り合いへの呼びかけなど行い、ほぼ定員に達する人に来ていただきました。また、株式会社ニッピから食べるコラーゲンのサンプルを、日清製粉プレミックス株式会社から日清からあげグランプリ最高金賞店監修から揚げ粉を、サーティワンアイスクリーム株式会社からサーティワンアイスの交換券の提供を受け、講演会参加者に配布し大変好評でした。高知県支部のような小さな支部がこのような企画を行うには荷が重かったですが、なんとか盛況に行えたのではないかと思います。

講演会終了後は、支部総会及び懇親会を行い、講演して下さった高橋、野村両先生を囲み歓談しました。なお、支部総会終了時に記念写真撮影の呼びかけを忘れてしまい、参加者全員が写っていないので申し訳ない限りです。

愛媛県支部



開催日 平成27年2月14日(土)
開催場所 えひめ共済会館
参加人数 18名
実施事項 事業報告、会計報告、本部同窓会参加報告、役員改選ほか
幹事・報告者 白石 郁朗(農S46)

<幹事のコメント>

支部活動再生の立役者・重松正矩顧問が半月前に召天され、冒頭に全員で黙とうを捧げる。また、お招きしていた西澤常務理事がご家族の急病により急きょ欠席される残念があり、静かな幕開けとなった2年ぶりの総会。

いざスタートするとスムーズには流れ、鈴木東義支部長、池上正彦副支部長兼代議員、織田聡副支部長、門屋一臣顧問、尾中直道事務局長等々の新体制が発足。重松氏への感謝状推薦を含め、諸議案全ての承認を得る。

少し緊張気味の記念撮影の後、懇親会へ。潤滑油が入った頃合いを見はかり、一人一人自己紹介。これがなかなか人柄のにじみ出た、興味深い話のオンパレード。県内外の出身者が入り乱れているものの、共通項は、愛媛愛!? 静かに始まり、和やかに閉じた総会・懇親会。また2年後の再会と出会いを期して散会。

福岡県支部



開催日 平成26年11月8日(土)
開催場所 平和楼 天神本店 参加人数 19名
派遣理事名 野村 義宏 常務理事
実施事項 大学の近況報告・講話、総会議事承認、懇親会
幹事・報告者 園田 善之 (林産S62)

<幹事のコメント>

秋の訪れが感じられる冷たい雨が降りしきる中、中野哲男先輩(養実S23卒)を筆頭に半世紀にわたる世代19名が集いました。

まずは、野村先生から大学の近況報告、御専門のコラーゲンに関する講話をいただきました。健康面での身近な話題でもあり、皆さん大変興味深く聞き入っておられました。

総会議事が承認され、酔っ払う前に記念撮影を済ませ、懇親の宴へと移りました。各会員の近況報告を通じて、学生時代を想い返し、懐かしく楽しい歓談の時を過ごすことができました。

お開きの後は、2年後も健康で参加できるように祈念し、博多屋台名物の豚足でコラーゲンを補充して帰路に着きました。

熊本県支部



開催日 平成26年6月7日(土)
開催場所 熊本交通センターホテル 参加人数 30名
派遣理事名 渡辺 直明 常務理事
実施事項 (1)平成25年度会計報告について、(2)熊本県支部会員の動き、(3)その他
幹事・報告者 小野 亮太郎 (農S63)

<幹事のコメント>

・渡辺先生より、現在の農工大学の概要(新たな140周年記念会館の状況等)について話題提供され、工学部、農学部建物の写真など現在の農工大の状況を細かく紹介していただきました。会員皆懐かしい大学の変遷に思いをはせました。

・林田氏が国政における動き等を報告されるなど、各種活動をされる会員の情報交換の場ともなりました。

・本年は出席者30名と例年になく多数の会員が出席され、盛況な総会、懇親会となりました。各出席者からの近況報告では、古い話や新しい話が様々な飛び出し、年配の方から若手の方まで、同じ学び舎での一体感から親近感あふれる会話が盛り上がっていました。

・来年もまた多くの県支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

宮崎県支部



開催日 平成27年1月31日(土)
開催場所 ホテルメリージュ 参加人数 17名
派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事
実施事項 平成25年度実績及び会計報告、平成26年度計画及び収支予算
幹事・報告者 井之上 英行 (農工H4)

<幹事のコメント>

去る平成27年1月31日(土)に、宮崎県宮崎市の「ホテルメリージュ」において、会員17名の参加により、平成26年度宮崎県支部同窓会を開催しました。

総会では、「平成25年度実績及び会計報告」、「平成26年度計画及び収支予算」が承認されました。

また、副支部長より「農工大学創基140周年・同窓会50周年合同記念式典」への出席報告がありました。

当日は、同窓会本部へ理事派遣を申請し、東京農工大学名誉教授の淵野先生にお越しいただきました。淵野先生から大学や同窓会の近況等の貴重なお話をいただき、会員は、卒業から久しい母校の近況に驚きながらも興味深くお話を聴かせていただきました。

総会終了後は、会員それぞれの近況を報告し、楽しい同窓会となりました。

鹿児島県支部

開催日 平成26年11月8日(土)
開催場所 和創亭 くら蔵 参加人数 12名
派遣理事名 淵野 雄二郎 常務理事
実施事項 ①協議.平成25年度事業実績及び収支決算について、平成26年度事業計画及び収支予算について、その他 ②交流会
幹事・報告者 平 繁人 (養蚕S45)

<幹事のコメント>

同窓会鹿児島県支部の平成26年度総会を本部の淵野事業部長をお迎えし、11月8日(土)に鹿児島市で開催しました。会員の参加者は12名でした。

総会では、上原会長の挨拶の後、淵野事業部長から母校の近況等をご紹介いただきましたが、最近の大学事情が様変わりしていることに驚かされました。25年度実績の審議後、26年度計画では昨年度から開催した親睦ゴルフ大会以外に皆で楽しめる企画はないか熱心に討議されましたが、結論を得るまでには至りませんでした。

その後、所狭しと移動をしながら焼酎を酌み交わし親交を温めました。

最後は、国から本県日置市に向出中の藤澤会員の音頭で、今後の活発な活動を祈念してのお開きとなりました。

横浜会



開催日 平成26年6月13日(金)
開催場所 華正楼本店 参加人数 8名
実施事項 第51回通常総会の報告、横浜会会計報告及び会計監査報告、会員各位の近況報告、農工通信への原稿投稿のお願い、懇親会
幹事・報告者 加藤 裕二郎 (製糸S44)

<幹事のコメント>

総会開始時間の午後5時には、出席予定の8名全員が集合し、松島会長の挨拶及び第51回農工大同窓会総会の議題についての説明があり、次いで幹事よりの横浜会の経過報告、会計報告及び山川氏より会計監査報告が承りました。次いで三戸森氏の乾杯の音頭で懇親会に入りました。

話題は三戸森氏の前の会長を務めた桜井氏の訃報について(今年2月94歳にてご逝去される。)や、6月21日に富岡製糸場が世界文化遺産に認定されることの話から、山川氏は在学中、学外実習で富岡製糸場に行った話を端緒に、各会員より工場実習の思い出話で盛り上がった。また、三戸森氏よりは、明治時代の繰糸機械について熱心に語られた。

最後に昨年より同窓会本部の会長としてご活躍くださっています、草野洋一会長の締めめで本年の横浜会春季総会を滞りなく終了した。

クラス会だより

S34年養蚕学科卒クラス会

養蚕 S34卒



開催日 平成25年10月29日(火)
開催場所 伊東小涌園
参加人数 7名
実施事項 近況確認、親睦
幹事・報告者 安藤 博夫

昭和41年農学部農業生産工学科卒クラス会

農工 S41卒



開催日 平成26年5月12日(月)～15日(木)
開催場所 長崎県五島列島
参加人数 9名
幹事・報告者 照屋 至

<幹事のコメント>

昭和41年卒の農業生産工学生は、毎年、新年会や暑気払いを東京・新宿でやっていますが東京近辺の人が中心となってしまうがちですので、逢うことが少ない旧友との再会、又卒業約半世紀を理由に長崎県五島列島に3泊4日の旅を計画しました。

卒業生27名の内、長崎県庁OB(大田・浜口)のほか仙台(大石)、神戸(西)、東京(大久保・小口・佐々木・照屋・向井)在住の計9名で5月中旬行ってきました。

好天と荒天の入り混じった日々でしたが簡素ながら凛とした佇まいの教会群を見学し、美しい玉之浦海岸や東シナ海に突き出た大瀬崎灯台の絶景を楽しみ、毎夜、地元の魚と昔話を肴にし地酒を大いに楽しみ、和気あいあいの内に次回を約し福江港を後にしました。

S30獣医学科卒クラス会

獣医 S30卒



開催日 平成26年5月13日(火)～15日(木)
開催場所 長野県湯田中温泉郷 穂波温泉
参加人数 18名
実施事項 懇親・情報交換・観光
幹事・報告者 石坂 英夫

<幹事のコメント>

長野駅に集合、夫人を含め18名、善光寺・野尻湖ナウマン象博物館・一茶記念館・高野辰之記念館、湯田中温泉郷へ。近況の報告に花を咲かせ、卒業60周年のポプラ会は府中で幹事は原氏に決定。

2日目、ユネスコエコパーク指定の志賀高原、母校の校歌と「輝く駒場」を作曲した中山晋平記念館へ。「駒場の森・・・」を全員で合唱し、学生時代に想いをはせた。

3日目は小布施へ、葛飾北斎館等を見学し長野駅へ。来年の再会を約し解散した。

なお「輝く駒場」は昭和6年4月、「東京高等農林専門学校校歌」は昭和18年10月の作曲であることを知りました。

F32会

製糸 S32卒



開催日 平成26年5月26日(月)～27日(火)
開催場所 磯部ガーデンホテル(磯部温泉)、富岡製糸場
参加人数 5名
幹事・報告者 高橋 榮志

<幹事のコメント>

私たちは昭和32年に製糸学科を卒業し、今年、卒後57年になりました。

現在も、F32会の名のもとにクラス会を開き、小金井の母校で開催した昨年に引き続き、今年は5月26日、群馬県の磯部温泉、磯部ガーデンホテルで楽しいひとときを過ごしました。翌日は、世界文化遺産登録推薦を6月に控えて盛り上がっている「富岡製糸場」を見学、幹事を務めた私が、見どころすべてを案内しました。

写真はその中の1枚ですが、高齢化にともなって参加者が減り、写真右より、私、齊藤、植田、当麻、小此木の5名、参加者は皆元気でした。

明治初期より日本の近代化に著しく貢献し、戦後も昭和30年代まで日本経済を支えてきたのが「絹産業」であり、私たちはその事を忘れてはなりません。

「富岡製糸場」を世界文化遺産登録目前に見学出来たことは、F32会にとっては、またとない幸運でした。

見学者で賑わう富岡製糸場を後に、高崎の白衣観音(観世音菩薩)を拝観し、高崎駅で再会を約して別れ、帰途に着きました。

小金井会

会社内の農工大OB・OG会



開催日 平成26年6月2日(月)
開催場所 「日比谷BARの食卓」新宿店
参加人数 23名
幹事・報告者 市川 雅英(電電子H15)

<幹事のコメント>

会社内での農工大のOB・OGの集まりとして「小金井会」を実施しました。

会社でもOBの1969年卒業生から、入社したての2014年卒業生までの幅広い年次の卒業生が集まる事が出来ました。

「小金井会」という名称は、工学部のOB・OGを意識してつけた名称でしたが、社内には農学部卒業生もいます。同じ大学の卒

業生として、社内での縦や横のつながりを大切することを改めて確認した会でした。

けやき会

林S29



開催日 平成26年6月2日(月)
開催場所 札幌市
参加人数 7名
実施事項 卒業60周年記念北海道旅行
幹事・報告者 岩崎 克己

<幹事のコメント>

卒業60周年を記念して北海道札幌市でクラス会を開催した。翌日、札幌在住の脇君の案内で、彼が長年にわたりボランティアを務めている野外博物館「北海道開拓の村」を訪れ、開拓時代に建築された建造物、歴史、文化、生活など開拓民の知恵と努力を学んだ有意義なクラス会であった。

西ヶ原寮41会



開催日 平成26年6月25日(水)
開催場所 紀州鉄道「熱海ホテル」
参加人数 11名
実施事項 懇親
幹事・報告者 若尾 俊雄(製糸S41)、小山 邦彦(電気S41)

<幹事のコメント>

工学部の旧西ヶ原寮を主に昭和41年に卒業した有志で毎年6月に同窓会を開催し、今年で10年目を迎えました。この同窓会はクラス会や支部総会と違って他学科・地方出身者の集まりで、いろいろな分野での苦労や活躍・寮時代の懐かしい話題や寮歌の合唱などで夜の更けるのも忘れました。まだ案内の届いてない方で出席を希望される方がありましたら幹事が出席者まで連絡してください。今回の出席者は土屋・若尾・渡辺・坂井・清水・佐々木(要)・井上・金澤・瀧上・山本(喜)・小山の11名でした。

昭和43年入学農学科・養蚕学科合同クラス会V

農・養蚕S47・S48卒



開催日 平成26年6月28日(土)
開催場所 東京駅「オールドステーション」
参加人数 20名
実施事項 親睦・近況報告
幹事・報告者 鈴木 創三(農S47)

<幹事のコメント>

遠来朋友とレディーは60%引き、近郊朋友も20%引きの会費、チョモランマ氏のチョコプレゼント、再会を祝した乾杯に始まり、「新入生ハイキングや農場実習」の写真が特設スクリーンに映し出されると一気に雰囲気は盛り上がりました。キャトルオーナー氏が農工大OBの山小屋に泊まる乗鞍岳登山を勧誘、コンポン教祖様は「横浜観光・中華街ツアークラス会を11月15日(土)に開催」を宣言、益々盛り上がる中で、来年6月27日(土)の定期大会での再会を固く約束して記念写真撮影後、御披露となりました。

生産機械工学科I-54クラス会

生機S54卒



開催日 平成26年10月4日(土)
開催場所 和食「響」新宿店
参加人数 26名
実施事項 近況報告、親睦
幹事・報告者 大石 健樹、小田 道明

<幹事のコメント>

そろそろ60歳に届き人生の岐路を迎え、お互い悩みや経験を分かち合う良い時期ではとの発想で、卒業後35年初めてのクラス会を行いました。当日は遠く高松や大阪からも駆けつけ、約7割の26名が参加しました。会場では直ぐに名前の分かる人もいれば、「あんた誰や、名を言え!」と、最初は堅い雰囲気でしたが、各自卒業後の自己紹介で学籍番号をスラスラ言える人や、思い出したくない話も出て、皆一気にタイムスリップしました。時間の許す限り2次会、3次会へと続き、新宿の街を久し振りに友と歩き回りました。次回の幹事に中原英之助君と吉田修君を選出し、2年後再会を誓い新宿を後にしました。

機械工学科三期生(昭和40年卒)同期会

機械S40卒



開催日 平成26年10月17日(金)
開催場所 御茶ノ水ホテルジュラク「白鳥の間」
参加人数 22名
実施事項 懇親、近況報告、情報交換他
幹事・報告者 四宮 節三

<幹事のコメント>

幹事役を研究室持ち回り制とし、この同期会は十数年毎年続いています。今年は22名の方々が集まりました。会に先立ち亡くなられた方々へ黙とうを捧げ、その後開会。「健康」や「趣味」に話は尽きず、途中で同期で長年JAXAで「有人宇宙飛行」に長く携わってきた斎藤さんから宇宙に関する貴重な「講話」もあり、和気あいあいと盛り上がりました。

来年は卒業50周年の節目になります。益々健康に心がけ、再会を約し散会しました。

工業化学科S58卒クラス会

工化S58卒



開催日 平成26年10月18日(土)
開催場所 熱海温泉「リゾートピア熱海」
参加人数 23名
実施事項 親睦・近況報告
幹事・報告者 中野 浩史

<幹事のコメント>

約10年ぶりのクラス会開催。まだまだ忙しい人も多い中、卒業以来のメンバーも含め過去にない人数が集まりました。

親睦会では近況報告の後、プロジェクターを使って学生時代の写真をスライドショーで映し、30年以上前の若かりし自分たちの姿に、懐かしい話の花が咲きました。また、部屋に戻ってからの二次会はホテルからクレームが出るほどの(?)盛り上がりで、深夜まで続きました。

翌日予定していたボーリングは、会場が2年前に廃業していたというハプニングもありましたが、次回の再会を約し解散となりました。

ポリメル会

織化S34卒



開催日 平成26年10月20日(月)～21日(火)
開催場所 ニューウェルサンピア沼津
参加人数 18名
実施事項 親睦・近況報告
幹事・報告者 田中 壯

<幹事のコメント>

2年半ぶりのクラス会の開催でしたが、近況報告、学生時代の思い出話などを語りながら大いに盛り上がりました。

皆、傘寿に近いこともあり、必ずしも体調万全とは云えない人が多かったようですが、気持ちだけは意気軒昂で趣味、その他好きなことに日々精進している様子が窺えました。

今後のクラス会について意見が分かれましたが、全体でのクラス会を後1回は実施することに決まりました。

林産学科S59年卒業クラス会

林産S59卒



開催日 平成26年11月1日(土)
開催場所 代々木「GREEN SPOT」
参加人数 19名
実施事項 卒業30周年記念
幹事・報告者 雲 和雅・雲 理絵・大関 万実子・饗庭 泰之

<幹事のコメント>

昭和59年に卒業してから早いもので30年が過ぎ、前回開催から9年半が経過した2014年11月1日(土)に代々木「GREEN SPOT」にて林産学科同窓会を開催しました。

前回では5名の恩師をお迎えしましたが今回も喜多山先生にご出席いただき、みんなの元気な顔を見る事ができました。20数年ぶりに会う人や異国の地フランスから出席してくれた人もいて会は大いに盛り上がり、幹事として無事開催された喜びを感じました。

次回開催がまた10年後になるのは少々、長い気がしますので、お互い健康に注意を払い、数年後の再会を誓い、二次会、三次会を経て散会しました。みんなまた会おうね!

水研会

水谷研関係者



開催日 平成26年11月10日(月)
開催場所 本願寺築地別院和田堀廟所
参加人数 28名
実施事項 (故)水谷久一先生50回忌法要・水研会最終総会
幹事・報告者 杵村 義昭(織化S34)

<幹事のコメント>

水研会は、S29年～41年に亘る水谷研究室を卒業した学生の同窓会です。水谷先生は農工大が新制大学として発足した後、S27年に繊維化学科に招聘された新進気鋭の教員で、黎明期の合成繊維や合成樹脂の有名な研究者でした。

研究の傍、学生の教育にも大変熱心で、多くの学生に感銘を与えました。不幸にもS40年病魔に侵され世界されました。

先生を偲ぶ当会は存続し、ここに50回忌の法要を終え、会を閉じました。詳細は、農工通信90号に寄稿させていただき予定です。

S46林学科クラス会

林S46卒ほか



開催日 平成26年11月15日(土)
開催場所 「魚串・然」(港区)
参加人数 20名(連絡できた級友の71%が出席)
実施事項 各人からの近況報告と2015年計画案について
幹事・報告者 和田 均・横堀 誠

<幹事のコメント>

いつもながら20名出席と盛会で、興味深い近況報告など楽しいひとときを共有できました。

写真は前列(左から):石井正一、半田孝俊、稗田政義、和田均、高橋正夫、蓮尾純子、渡邊敏、三浦慎悟、川口輝夫、湯本達也、松本滋夫、井上富雄、後列:宇佐見誠一、大島和久、佐野一男、鈴木靖二、山口善正、大野良三、島村利夫、横堀誠です。

2015年計画は、5月「わたらせ渓谷鉄道による遊覧と国民宿舎・草木での宿泊懇親会」、11月「定例クラス会」の案が承認されました。

31E会 (昭和31年卒 農業工学専修)

農工S31卒



開催日 平成26年11月16日(日)～17日(月)
 開催場所 KKR箱根宮の下
 参加人数 3名
 幹事・報告者 北原 敬悟

<幹事のコメント>

我々は正式には、農学科農業工学専修を昭和31年に卒業し、メンバーは10名でしたが3名が他界し、残った内4名は体調不良で出席できず、とうとう3名のみになってしまいました。

秋深き箱根路に集まり、長き夜を現況と現役時代のこと、農業土木技術者らしく灌漑用水路を使って小水力発電事業を起業したいが・・・などと語り合いは夜更けまで続きました。

翌日は山を下りて、小田原城を散策し、来年を約して帰路に着きました。

昭和49年農学科卒業生同窓会

農S49卒ほか



開催日 平成26年11月22日(土)
 開催場所 武蔵野荘ラウンジ
 参加人数 14名
 幹事・報告者 池谷 紀夫

<幹事のコメント>

卒業後2回目の同期会。北は北海道から南は沖縄(石垣島)まで全国各地からの出席であった。

40年ぶりに会ったので、はじめ誰だか分からない人もいたが、会話が進むにつれて昔の関係に戻って和気藹々と4時間があっという間に過ぎてしまった。

40年はとても長い時間の経過ではあるが、人の記憶はその時間をあっという間に乗り越えて、ついこの間のことを話しているような気にさせてくれた。

今回はまだ足腰がしっかりしているうちに開催する予定。

農工大機械81会

機械S56卒



開催日 平成26年12月20日(土)～21日(日)
 開催場所 群馬 磯部温泉 磯部館
 参加人数 7名
 実施事項 親睦
 幹事・報告者 阿部 典之

<幹事のコメント>

3年ぶりのクラス会は少人数でしたが、楽しく親交を深められました。

写真(前列左から)小山内、広井、石田(後列左から)阿部、山本、横山、濱。

2日目は、世界遺産の富岡製糸場の見学を行い、農工大OBとして蚕糸、生糸産業とのつながりを感じました。

当会のクラス会は2年ごとの開催予定ですが、クラス会に来れない方にも会えるように、不定期で東京で小集会を開くことも継続していきます。

電子工学科昭和61年入学者同期会

電子S61入学



開催日 平成27年3月7日(土)
 開催場所 塚田農場 八重洲北口店
 参加人数 8名
 実施事項 卒業25周年記念
 幹事・報告者 木村 宗弘

<幹事のコメント>

学部を平成2年に卒業してから早いもので25年が過ぎ、皆の容姿もずいぶん変わってきました。子育て真っ盛り、仕事真っ盛りの世代であるためか、皆様中々多忙で、8人しか集まらなかったが、時を忘れて楽しいひと時を過ごすことが出来たようです。次回は5年後。元気に再会することを約して散会しました。

38Fクラス会

林S38卒



開催日 平成27年4月17日(金)～18日(土)
 開催場所 佐野市赤見温泉公園荘
 参加人数 19名+1名
 実施事項 毎年のクラス会と櫻狩り
 幹事・報告者 松井 英輔

<幹事のコメント>

唐沢山演習林の火事跡地に2008年3月、38Fクラス会がカスミサクラ100本植栽した。7年後のこの春、カスミサクラの苗を100本植え、その花見を目的にクラス会を開催し、シカの食害後の10本の補植もした。時期的には少し遅く、花を付けているカスミサクラは少なかったが、所期の目的は一応達成した。

にこのかい
紡織科二五会

紡織S25卒



開催日 平成27年5月15日(金)
開催場所 ジ・オーキッド(東京・丸の内)
参加人数 6名
実施事項 卒業65年記念懇親会
幹事・報告者 本多 寛

<幹事のコメント>

私たちのクラス会は、平成の時代になった以降世話人が固定化しほぼ毎年親睦の行事を重ねてきましたが、卒業60年の記念行事をもって一応解散しました。しかし長い間に培われた仲間同士の絆は簡単に断ち切ることができず、存続を願う9名の仲間と共に、新たに健康と長寿を願う有志の会として紡織科二五会を立ち上げ今日に至っています。

この度は、世話人の都合で行事が途絶えたこの2年の間に同期生4名が黄泉の国に旅立たれたこともあって、私たちの今後の人生を考慮して懇親会を開催することにしました。気が付けば、今年丁度卒業65年という記念すべき年でした。

今回の開催については確約を得ないままの解散となりましたが、現在8名の仲間がいろいろ問題を抱えながらも元気に過ごしていますので、次の呼びかけを期待しながら残された人生の1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

写真は、前列右から大嶋、水野、小池。後列右から蒲田、鈴木、本多の諸氏です。

きさらぎ会

林S32卒



開催日 平成27年6月3日(水)
開催場所 グリル満天星(東京丸ビル内)
参加人数 17名
実施事項 懇親会
幹事・報告者 寺嶋 稔

<幹事のコメント>

きさらぎ会は、昭和32年に林学科を卒業した仲間の近況連絡と親睦を目的に昭和52年の卒業20周年記念に設立しました。

設立当初は5年毎の開催にしていたのですが、卒業25周年記念を機に毎年開催することとなり、形式も全国各地にいる会員が持回りで幹事を務め、奥様も参加する一泊旅行の形となり、更に平成24年からは東京での日帰りの会に変更して、今年で通算32回目になります。

ここ数年奥様方の参加が低調でしたが、今年は北陸新幹線の開通効果で常連の岡君が富山から久しぶりに奥様を同伴、豊橋からは亡き笹本君の奥様、同じく熊谷から亡き町田君の奥様と御長男正裕氏(丸の内第一法律事務所所属・弁護士)、それに小生の家内も加わり、町田正裕氏からの話題提供などもあって賑やかななかにも大変実のある懇親会でした。

写真は(前列左から)清水、千田、山口、岡 栄子、鈴木、寺嶋、(中列)町田利恵、岡、(後列)千葉、笹本洋子、鳥居、八木沢、中山、久保田、寺嶋桂子、棟方(敬称略)

硬式野球部後援会 2014年度OB戦



開催日 平成26年8月2日(土)
開催場所 東京農工大学工学部グラウンド
参加人数 卒業生24名、現役生20名
実施事項 毎年恒例。昼に現役vsOBの野球の試合。夜に懇親会。
幹事・報告者 山口 陽三(電情H9)、
yozo@bbm-a.jp

<幹事のコメント>

近年の夏の猛暑にも負けず、最年長の70歳代・伊藤先輩(昭和36年繊維工学卒)を筆頭に硬式野球部のOBが今年も小金井グラウンドに集まりました。

現役との対戦ではOBが1回表に先制も現役の反撃を受けてあっさり逆転。終盤も現役の鋭い打撃の前になすすべなく、2-14と現役の前に完敗いたしました。

夜は場所を移しての宴会。現役の強さを見せつけた昼の一戦は秋のリーグ戦優勝に大きな期待を抱かせるものであり、一同が躍進を期して酒を酌み交わす楽しい宴となりました。OBのみならず、来年もご参加、お願いします。

http://www.yozonet.com/noko_baseball_ob/

掲 示 板



生物システム応用科学府 (BASE) に食料エネルギーシステム科学専攻を新設

国際的に活躍できるイノベーションリーダーの養成を目的としたリーディングプログラム (<http://www.tuat.ac.jp/leading/>) を基盤として、BASE学府に5年一貫制の食料エネルギーシステム科学専攻(定員10人)が2015年4月新設されました。この専攻では、BASEの理念である農工融合・実践科学の高度な専門性を習得するとともに、地球規模での様々な社会・環境問題を解決するためにイノベーション創出力・国際展開力・人間力等を兼ね備えた国際的なリーダーを養成していきます。特に、農工大の強みを生かした「食」をキーワードとして、食料生産やエネルギー・環境問題に取り組んでいきます。

食料エネルギーシステム科学専攻では、多様な科学技術の習得や幅広いキャリア展開を行うために、入学後半年間は「キャリア開発プログラム」を履修して、個々のキャリア形成について自己啓発していきます。この後、ビジネスプランなど実践スキルを身につけるために、実社会の課題をテーマとした国際ワークショップを行う「イノベーション科目」、英語でのディベートや国際会議などの「国際科目」、国内外の企業でのインターンシップを行う「社会交流科目」が行われます。また、多様な国際社会や地域で円滑にリーダーシップを発揮できるように、法律や経済、歴史といった人文社会系科目も「基礎専門科目」として用意されています。

研究室での研究活動も従来とは異なっています。これまでの大学院教育では1つの研究室で高度に専門性を高めていましたが、本専攻学生は2年間かけて3つの研究室に3か月から半年程度所属して、幅広く専門技術・知識を習得するとともに、将来の研究ビジョンを構築していきます。この経験によって、3年目から始まるいわゆる博士課

程において、研究分野の融合や新研究領域の創生がなされることを期待しています。また、専攻学生が学業や研究に専念できるように奨励金も支給されています。

このように、これまでの研究者養成を目指してきた大学院とは全く異なる5年一貫制の教育・研究が行われています。学ぶ分野も多岐にわたることから、専攻所属教員だけではなく、学府を超えた全学的な支援を受けると同時に、国内外の大学や企業、国際機関と連携を行っています。

今後は、同窓会諸先輩方にも、キャリア開発に関する講師依頼や、学生インターン受入れのお願いをする機会があると思いますが、その際にはぜひともご協力の程よろしくお願いいたします。

<生物システム応用科学府運営サイト>



東京農工大学生物システム応用科学府

科学博物館ニュース

東京農工大学科学博物館

「農工大が、想う、描く、カタチにする。未来の再生可能エネルギー展」好評のうち終了

科学博物館では、未来のエネルギー技術についての企画展「農工大が、想う、描く、カタチにする。未来の再生可能エネルギー展」を2015年3月17日(火)～6月13日(土)開催しました。

社会的にも再生可能エネルギーの利用には高い関心が寄せられていますが、本学でも、多くの研究者により、バイオマス、次世代型蓄電、究極の省エネなどをキーワードに、多様な次世代エネルギー関連の研究が活発に行われています。本企画展では、本学で取り組んでいる、将来のエネルギー社会の実現に向けたさまざまな要素技術の開発成果を、実際の研究で用いられる実物展示を中心に紹介されました。次世代のエネルギー社会に興味のある市民の方をはじめ、自然科学が好きな小学生や進路を検討中の中高生まで、幅広く来館されました。科学博物館の今後の企画にもご期待ください。

【企画展】

「農工大の国際技術支援の紹介展 農が支える世界の資源と文化」

～ウズベキスタンのカイコが育む、アマゾンの森と共にある、人々の暮らし～

展示期間：2015年7月22日(水)～10月3日(土)
場 所：企画展示室

農学部が行う教育研究の紹介として、アマゾンではアグロフォレストリー（農畜林複合経営）を基本とした人と環境の共生への道標を示す展示を、ウズベキスタンでは伝統的絹織物アトラスを使った作品展と養蚕技術交流による女性の自立化支援の展示を行います。

【巡回パネル展】「日本の生物多様性とその保全」

展示期間：2015年8月1日(土)～9月30日(水)
場 所：教育展示室

本展示は国立科学博物館が企画した巡回展で、東京農工大学の資料を追加して展示します。

小金井総合会館および総合体育館が竣工

2014年7月から始まった小金井総合会館の耐震工事および総合体育館の建設工事が完了し、4月末からリニューアルオープンしました。「竣工式・祝賀会」は、2015年4月27日(月)に総合会館で開催されました。生協食堂は4月21日(火)に、生協購買部は5月11日(月)にオープンしました。

また、秋口(10月頃を予定)には、「学食パス」が工学部食堂にて利用できるようになります。学食パスは、SuicaやPASMOなどの交通系ICカードを利用したサービスで、既にご自身がお持ちのカードを、学食パス用にご登録することでご利用ができます。



日刊工業新聞社「ニュースイッチ」、本学工学部を紹介

日刊工業新聞社が今春開設した新しいサイト「ニュースイッチ」において、本学工学部が紹介されています。記事は、「リケジョ小町+」という企画内の「未来を創るリケジョ」と題する特設コーナーにあり、リケジョが活躍する様々な企業や大学の中から、本学工学部が第一弾として取り上げられました。リケジョとは理系女子のことで、本サイトではこれからの日本の働き方や社会に変化をもたらす要素のひとつとなることを期待して、彼女たちをサポートしていく活動の一環です。本学の紹介の他に、生命工学科・大野中村研究室の紹介や、3名の工学部女子学生による研究内容、日々の研究室活動、将来の夢など大変興味深いインタビューが掲載されています。



日刊工業新聞社ニュースイッチ <https://newsitch.jp/rikejyo/future0100>

ニュースイッチ

検索

慶 弔

慶 事 お祝い申し上げます

平成27年春の叙勲

高橋 明善 (名誉教授)	瑞宝中綬章
早勢 實 (名誉教授)	瑞宝中綬章
門屋 一臣 (愛媛県前支部長・農S33)	瑞宝中綬章
川村 重信 (茨城県支部長・養蚕S40)	瑞宝小綬章
稲継 新太郎 (獣医S40)	瑞宝小綬章

平成26年秋の叙勲

舩引 龍平 (名誉教授・農化S30)	瑞宝中綬章
清水 実嗣 (獣医S43)	瑞宝中綬章
栗原 績 (農工S42)	瑞宝小綬章
津曲 公夫 (獣医S43)	瑞宝小綬章

平成26年春の叙勲

木崎 隆弘 (林S20)	瑞宝小綬章
--------------	-------

平成25年秋の叙勲

石崎 新一郎 (農S42)	瑞宝小綬章
---------------	-------

ご当選おめでとうございます

統一地方選2015

鷹廣 純 (生産H9)	広島県議会議員 (広島市安佐南区)
-------------	----------------------

衆議院選挙2014

西川 公也 (農工S40)	比例区北関東ブロック
---------------	------------

弔 事 ご冥福をお祈り申し上げます

松丸 勝二 (茨城県前支部長・農S37)	平成27年4月27日逝去
駒林 悌三 (林学部会元会長・林S26)	平成27年2月9日逝去
加茂 正三 (富山県元支部長・拓殖S19)	平成27年1月30日逝去
重松 正矩 (愛媛県元支部長・製糸S32)	平成27年1月29日逝去
吉田 文男 (元副会長、農芸化学・応用生命化学部会元会長、農化S25)	平成26年11月3日逝去
高橋 礪一 (名誉教授)	平成24年12月4日逝去

事務局だより

1. 会費納入のお願い

会費は同窓会活動の原動力です。正会員は同封の払込票にて次のいずれかの金額を納入してください。

終身会費30,000円または年会費1,500円

◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です

◇過去に遡って納入の必要はありません

2. メールアドレスの新規登録、住所・勤務先等の変更届けのお願い

事務局では同窓生への各種連絡にスムーズに対応するため、メールアドレスの新規登録をお願いしています。

同窓会ホームページ **会員情報（住所変更など）** から、24時間いつでも登録、その他の変更届けができますので是非ご利用ください。従来通り、変更連絡票はがきやメール・電話など、いずれの方法でも受付いたしますので住所、勤務先等の変更があった場合は、すみやかに同窓会事務局までご連絡ください。

なお、同窓会が所有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

3. 同窓会ホームページ「ギャラリー」の作品募集

写真や絵（日本画、水彩画、油絵）、版画など内容は自由です。

200字程度の紹介文を添付して同窓会までお送りください。

送っていただいた作品の中からホームページのトップ画面や農工通信の表紙も飾らせていただきます。

みなさまの力作を奮ってご送付ください。お待ちしております。



4. Facebook活用のお願い

同窓会ホームページ **会員交流広場** では、Facebookを利用した会員のコミュニケーションの場を提供しています。

Facebookの利用には簡単な登録が必要となりますので、詳しくは同窓会ホームページ **会員交流広場** をご覧ください。

また、部会・支部でFacebookページを開設された場合は、リンクを貼らせていただきますので、同窓会事務局までご連絡ください。

5. 同好部会の設置申請受付中

同窓会では、活動内容の類似した会員集団、又は同好の会員集団からなる部会一同好部会の設置ができます。設置を希望する会員は規程・細則等を参照のうえ、申請方お願いいたします。

申請に関する規程・細則等の詳細は、同窓会ホームページ「同好部会設置申請方法」をご覧ください。



編集後記

Editor's note

広報・情報部長 亀山秀雄（化工S48）

記事内容から伺えるように、近年支部活動が活発化してきております。同窓会では理事派遣ならびに支部総会でのイベント開催支援など予算を増加させて対応出来るようにしています。今年も全国での活発な支部活動をお願いします。また、部会活動も創立数十年を祝う形で大きな集会が行われており、現役学生とOBとを繋ぐ上で重要な役割を果たしていると思われまます。

同窓会ではキャリア・アドバイザー支援を行っており、その記事が14頁に掲載されていますのでご覧ください。学内では、学部から大学院への進学率が農学部6割、工学部8割と高い水準を維持しており、充実した研究環境で生まれた成

果が、学生自身により社会に公表される件数もこの3年平均して在学生の3割になっています。その中で、学生援助事業で支援した学会発表で受賞する件数は、この3年間でH24が38件、H25が51件、H26が55件と毎年増加している傾向にあり、研究の質も向上していることが分かります。

一方、我が国のエネルギー計画では、再生可能エネルギーの利用割合を2030年には22%～24%にするという報告を見ても、これから如何にして再生可能エネルギーを農林畜産業で有効に活用して地域経済の活発化に繋げていくかの具体的な対応が求められています。

このような社会の期待に応えるために、農工大学が研究教育活動をいっそう発展できるように、同窓会は、様々な支援をしていきます。農工通信は、その情報をわかりやすく提供する場でもありますので、毎回楽しみにしていただきたいと思ひます。

「情報提供マニュアル」のご紹介

本会が保有する会員の個人情報名簿提供依頼書等により本会の会員に提供しております。

なお提供された名簿は、利用目的以外に使用せず同窓会個人情報の保護に関する規則の趣旨に基づき個人情報の保護に努めていただくようお願いいたします。

クラス会OB会を開こう!!

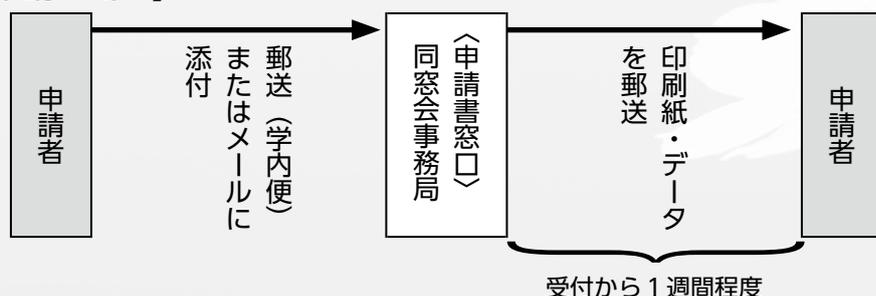


【申請手続き】

利用目的	申請者	申請書	備考
部会・支部活動	部会・支部の連絡員	(様式1) 部会・支部・クラス会等名簿提供依頼	—
クラス会・OB会等の開催	同窓会員		身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピー
大学内の使用	本学および本学教職員	(様式2) 卒業生・修了生名簿提供のお願い	—
個人的な使用	同窓会員	電話依頼	—

※個人的な情報提供依頼は、ご本人の承諾を得て情報を提供します。

【申請の流れ】



【申請書の入手方法】

- (1) 同窓会事務局へ電話・FAX・はがき・メール等で、送付依頼

東京農工大学同窓会事務局

〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

TEL 042-364-3328 FAX 042-335-3500

Email info@tuat-dousokai.jp.org

- (2) 同窓会ホームページからダウンロード

同窓会ホームページの「事務局便り・お知らせ」をクリックしていただくと、ダウンロードの方法が確認できるようになっています。

お知らせ

同窓会会則改正により、平成25年度の総会から正副会長・支部長を始め、部会・支部から推薦のあった理事や代議員のほかに、60人以内の一般の会員も構成員に加えました。

毎年1月の同窓会ホームページにて募集しますので、奮ってご応募ください。

農工通信 第89号

発行日 平成27年(2015年)8月1日

発行所 東京農工大学同窓会

連絡先 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学同窓会事務局

TEL 042 (364) 3328 FAX 042 (335) 3500

e-mail info@tuat-dousokai.jp.org

URL http://www.tuat-dousokai.org/

振替口座 00120-9-93147番(加入者負担)

加入者名 東京農工大学同窓会

印刷所 小野高速印刷株式会社

〒870-0913 大分県大分市松原町2-1-6

お中元、お歳暮、贈り物に最適

部会、支部会、同窓会でも

ぜひご賞味下さい。

[しょうてんろく]

賞典禄

農工大ブランド本格焼酎



原酒(芋)

原酒(麦)

米焼酎

芋焼酎

麦焼酎

長期貯蔵酒(米)

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター(FSセンター)で栽培した原料(米・芋・麦)をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄(しょうてんろく)」を販売しています。
「ご好評いただいております「賞典禄(しょうてんろく)米・芋・麦」の本格焼酎に加えて、芋・麦の熟成した原酒もそろい踏みとなり、ますます品ぞろえが豊富になりました。
この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめるのは是非ご賞味下さい。

賞典禄 FAX 注文票

以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター 宛 FAX : 042-367-5801

【ご注文内容】

			平成	年	月	日
原酒 芋焼酎 (2,500 円) 38 度 720ml	本	米焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本			
原酒 麦焼酎 (2,500 円) 43 度 720ml	本	芋焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本			
長期貯蔵酒 米焼酎 (1,800 円) 41 度 720ml	本	麦焼酎 (1,500 円) 25 度 720ml	本			
焼酎 米・芋・麦 3 種セット (4,200 円) 25 度 720mlx3	セット	合計注文金額				円

【ご注文者様情報】

お名前	フリガナ	
住所	〒	
電話番号	FAX 番号	
生年月日	T.S.H 年 月 日	※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

- 【ご注意】
- ※1 お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
 - ※2 ご注文いただいた上記金額の他に、送料 (5,000 円以上は無料) 及び代金引換手数料 (代金引換額に応じた所定の金額) が必要になりますので、予めご了承願います。
 - ※3 本注文票により収集された個人情報は、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ : FS センター農工大市場ネットショップ

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務局

TEL 042-367-5811